

令和 8 年度

要 覧



島根県立東部高等技術校

〒693-0043

出雲市長浜町 3057-11

TEL 0853-28-2733

FAX 0853-28-2736

目 次

1. 技術校の運営	1
2. 施設の概要	2
(1) 土地・建物	2
(2) 主な機械設備	2
3. 訓練の概要	3～10
(1) 施設内（校内）訓練	3～4
(2) 訓練科別教科目及び訓練時間数	5～6
① 普通課程	5
② 短期課程	6
(3) 訓練生の状況	7～10
① 入校状況及び在籍者数	7～8
ア 年度別（令和7・8年度）	7
イ 年齢別、男女別在籍者数	7
ウ 市郡別在籍状況	8
エ 年度別応募者数・入校者数・修了者数の状況	8
② 訓練生就職状況	9～10
4. 訓練生の支援制度	10
5. 入校料・授業料（普通課程）・寄宿舎使用料	10
6. 委託訓練	11～13
7. 在職者研修	14～17
8. 技術校位置図・施設配置図	18～20
9. 東部高等技術校の沿革	21～29
10. 組織及び職員構成	30

1. 技術校の運営

(1) 校 訓

自 主 : 人に頼らず自分で考えて実行し、自分の行動に責任をもつ。

敬 愛 : 温かい心で人に接し、お互いが人格を尊重し助け合って行動する。

創 造 : 基礎的な技能や豊かな知識をもとにして、更に創意と工夫に努める。

(2) 教育訓練の目標

心身ともに健康で自主性に富み、人を愛し物を大切に社会に貢献できる職業人の育成をめざす。

(3) 運営の重点事項

ア 職員の協力体制の確立と研修活動を充実する。

・和と相互協力 ・指導力の向上 ・人間性豊かな指導

イ 訓練指導の充実に努める。

・基礎的事項の明確化 ・わかる授業の創造 ・職場適応力の育成

ウ 生活指導の充実強化を図る。

・基本的生活習慣の指導 ・創意ある科の経営 ・家庭及び関係団体との連携

エ 健康と安全指導の徹底を図る。

・健康観察の実施 ・保健指導の取組み ・安全意識の高揚と安全点検の徹底

オ 訓練環境の整備に努める。

・環境の美化

2. 施設の概要

(1) 土地・建物

① 土地

所在地	島根県出雲市長浜町3057-11	面積	42,000m ²
寄宿舍	島根県出雲市荒茅町3341-1	面積	2,945m ²
計		面積	44,945m ²

② 建物

名 称	構 造	建 築 面 積	延 面 積
管理・教室棟	鉄筋コンクリート造 2階建・鉄板葺	2,326	3,242
第1実習棟 (自動車工学科、住環境・土木科) (ものづくり機械加工科)	鉄筋コンクリート造 平屋建・鉄板葺	3,132	2,929
第2実習棟 (住環境・土木科) (建築科、左官科)	同 上	2,169	2,027
住環境・土木科 CAD 室 建築科教室	鉄骨造・平屋建	148	148
体 育 館	鉄骨造・銅板葺	1,052	1,005
倉庫・車庫	鉄骨造・銅板葺	672	672
渡り廊下	鉄骨造・銅板葺	300	300
そ の 他		93	93
寄 宿 舎	鉄筋コンクリート造 3階建・瓦葺	1,028	1,874
合 計		10,920m ²	12,290m ²

(2) 主な機械設備

訓 練 科 名	主 要 な 機 械 設 備
美 容 科	鏡台、サイドシャンプー台、リアシャンプー台、電動いす、モデルウィッグ、マツエクドール、メイクドール、加温促進器、エステ機器、ストレートアイロン、カールアイロン、ヘアスチーマー、モニター付顕微鏡、日本髪かつら、和洋婚衣装
自 動 車 工 学 科	教材自動車（ハイブリットカー・普通、軽自動車・トラック他）、シャシーダイナモメータ、4ホイールライメントテスト、テストライン、オパシメーター、排気ガステスト、故障診断機（スキャンツール）、二輪自動車
住環境・土木科	測量CADシステム、土木工事積算システム、土木工事写真管理システム、電子納品システム、電子平板、トータルステーション、データコレクタ、オートレベル、耐圧試験機、クレーン付トラック、バックホウ、ダンプトラック、模擬家屋（衛生機器、空調機器他）、実験装置（空調、スプリンクラー）、配管用器具、溶接機
ものづくり 機 械 加 工 科	普通旋盤、立フライス盤、NC旋盤、帯ノコ盤、超硬バイト研削盤、両頭グラインダー、卓上ボール盤、交流アーク溶接機、TIG溶接機、ガス溶接装置、CADシステム、シーケンス制御機器、空気圧機器、3Dプリンター
Webデザイン科	パソコン（Windows、Macintosh）、カラーレーザープリンター、デジタルカメラ、インターネット環境、アプリケーションソフト（Adobe Creative Cloud）
建 築 科	建築CADシステム、直角2面カンナ盤、自動カンナ盤、手押しカンナ盤、昇降傾斜盤、帯ノコ盤、超仕上げカンナ盤、リップソー、フォークリフト、各種電動工具
左 官 科	バックホウ、動力巻上機、レーザーレベル、オートレベル、デジタルセオドライト、ユニプレート、ホイスト、モルタルミキサー
介護サービス科	電動ベッド、車椅子、高齢者疑似体験セット、高齢者介助練習モデル、血圧計、体温計、洗濯機、乾燥機、ドライヤー、ポータブルトイレ

3. 訓練の概要

(1) 施設内（校内）訓練

区分	訓練科	定員(人)		訓練期間(年)	対象者	訓練内容
		1年	2年			
普通課程 職業訓練	美容科	20	20	2	高等学校を卒業または卒業見込みの方	＊美容師の資格取得を目指す。 ・基本的な技能を重視した即戦力となる人材育成。 ・美容技術に関する知識と技術。
	自動車工学科	20	20	2		＊2級自動車整備士の資格取得を目指す。 ・自動車の構造、機能に関する知識。 ・自動車の点検、整備、検査に関する知識と技術。 ・道路運送車両法に関する知識。
	住環境・土木科	10	10	2		＊1級・2級土木施工管理技士及び測量士（補）等の資格取得を目指す。 ・土木施工管理に関する知識と技術。 ・測量に関する知識と技術。 ＊1級・2級管工事施工管理技士等の資格取得を目指す。 ・管工事施工管理に関する知識と技術。 ・配管に関する知識と技術。 ・溶接及びろう付けに関する知識と技術。 ・器工具使用法に関する知識と技術。 ・電気に関する知識と技術。
	ものづくり機械加工科	10		1	高等学校卒業程度の学力があると認められる方	＊普通旋盤及びフライス盤により、機械加工の基礎的な技能を身に付ける。 ＊NC旋盤により、NC機械のプログラミング及びオペレーションの基礎的な技能を身に付ける。 ＊機械図面の見方を理解し、CAD操作の基礎的な技能を身に付ける。 ＊各種測定器の使い方と品質管理の知識を身に付ける。
	Webデザイン科	10		1		＊Webデザインの基礎を学び、サイトの企画、製作、運用などフロントエンドエンジニアに必要な幅広いスキルを身に付ける。 ＊情報系などの資格取得を目指す。
	建築科	15		1	中学校以上を卒業または卒業見込みの方	＊木造建築物の施工における器工具及び機械の取り扱い、構造材の加工組み立て、木造建築物の建て方、造作材の加工取り付け等の技能を習得し、併せて建築工法の多様化に対応できる多能工としての素地を養う。又、将来の資格取得に必要な建築法規等の専門知識と技能を習得する。
	左官科	10		1		＊建築物の内外装仕上げやエクステリア等に関する幅広い知識と技能を習得する。
	介護サービス科	10		1	障がい者手帳を所持している方その他技術校長が認める方	＊介護施設職員の介護補助員として働くために必要な知識と技術及び社会人として必要な基本的マナーを習得する。 ・介護職員初任者研修（学科・実技） ・生活習慣・労働習慣・補完体育 ・職場実習 など
	計	105	50			
		155				

※普通課程では ○技能士補……技能照査に合格した者は技能士補の称号が与えられます。
 ○衛生管理者……3年以上労働衛生の実務経験を経ることにより、衛生管理者試験の受験資格が得られます。

受験資格等	
在校中に取得可能なもの	修了することにより受験（受検）可能なもの
美容師国家資格 (2年次2月実技、3月学科を受験) サービス接遇検定(2、3級)	美容師(実務経験不要)
技能講習：ガス溶接業務 特別教育：アーク溶接業務、研削といし取替業務、 電気自動車等の整備に関する特別教育	2級自動車整備士〔総合〕(修了直後に受験) (実技免除) 整備主任者・整備管理者選任資格 整備主任者選任後自動車検査員受験資格
測量士補(2年次の5月頃に受験) 2級土木施工管理技士補(2年次の10月頃に受験) 2級管工事施工管理技士補(2年次の11月頃に受験) 技能検定(建築配管)3級(1年次の1月頃に受験) 技能検定(建築配管)2級(2年次の1月頃に受験) 消防設備士(1類)(2年次の12月頃に受験) 第2種電気工事士(1年次の6月頃に受験) 液化石油ガス設備士(1年次の11月頃に受験) 特別教育：アーク溶接業務、ローラー運転業務 小型車両系建設機械運転業務 技能講習：玉掛け業務 小型移動式クレーン運転業務	1級土木施工管理技士 1級管工事施工管理技士
特別教育：アーク溶接業務、研削といし取替え業務 技能検定3級：普通旋盤作業、機械検査作業、 品質管理検定4級	
ITパスポート試験 ウェブデザイン技能検定3級 基本情報技術者試験 等	
特別教育：丸のこ等取扱い作業従事者教育 フルハーネス型墜落防止用器具使用作業 自由研削用といしの取替え等の業務 足場の組み立て等の業務 石綿取扱い作業従事者教育 振動工具取扱い安全衛生教育	技能検定2級建築大工(大工工事作業) ※技能五輪島根県予選で技能証取得により実技 免除(建築大工) 最終学歴が高卒以上の入校者は必要単位取得修了 後すぐに二級建築士及び木造建築士の受験が可能 (ただし、免許の登録には設計等の実務経験2年必要)
特別教育：自由研削用といし取替え等の業務 フルハーネス型墜落防止用器具使用作業 巻き上げ機運転	技能検定2級左官(左官作業)
介護職員初任者研修 普通救命講習	

※職業訓練指導員……職業訓練指導員免許の資格取得に要する実務経験年数が短縮されます。

※技能講習、特別教育は労働安全衛生法により、その業務に従事するために義務付けられた安全教育です。

(2) 訓練科別教科目及び訓練時間数

① 普通課程

科名	区 分	教 科 目 名	訓練時間数
美容科	学 科	理容・美容技術概論、衛生管理、保健、化粧品化学、運営管理、安全衛生、文化論、美容技術理論、関係法規・制度、社会、体育、社会福祉、保健栄養学、美容モード、接客法	1,087
	実 技	理容・美容基本実習、衛生管理消毒実習、化粧品化学実習、安全衛生作業法、美容実習、美容総合技術	1,755
	合 計		2,842
自動車工学科	学 科	生産工学概論、自動車の構造・性能、自動車の力学・数学、電気及び電子理論、材料、燃料及び潤滑剤、製図、法規、安全衛生、自動車整備法、検査法、機器の構造取扱い法、故障原因探求、社会	1,359
	実 技	機械操作基本実習、工作基本実習、測定基本実習、安全衛生作業、自動車整備実習、検査実習	1,483
	合 計		2,842
住環境・土木科	学 科	土木工学概論、応用力学、安全衛生、電気工学概論、建築設備及び機器概論、関係法規、空調設備、生産工学概論、溶接法、仕様及び積算、土木施工法、道路工学、建設機械工学、測量学、配管施工法、社会学、見学研修、コンクリート工学、管工事施工管理、鉄筋コンクリート工学等	1,238
	実 技	測量基本実習、安全衛生作業法、器工具使用法、溶接及びろう付け基本実習、電気工事施工実習、応用測量実習、土木施工実習、配管施工実習、配管基本実習、情報処理実習、建設機械施工実習、総合施工管理実習	1,604
	合 計		2,842
ものづくり機械加工科	学 科	機械工学概論、電気工学概論、NC加工概論、生産工学概論、材料力学、材料、製図、機械工作法、測定法、安全衛生、機械加工法、金型工作法、機械保全法、社会	586
	実 技	コンピュータ操作基本実習、製図基本実習、安全衛生作業法、測定実習、NC加工実習、機械工作実習、切削加工及び研削加工実習、機械保全実習、総合実習	835
	合 計		1,421
Webデザイン科	学 科	デザイン概論、Webデザイン、安全衛生、Web標準技術、視覚伝達法、社会	650
	実 技	Webサイト構築、コンピュータ操作基本実習、情報デザイン実習、安全衛生作業法、総合演習作業	771
	合 計		1,421

② 短 期 課 程

科名	区 分	教 科 目 名	訓練時間数
建 築 科	学 科	建築構造、建築設備、規矩術、測量、建築材料、建築製図、工作法、施工法、安全衛生、関係法規、仕様及び積算、設計及び製図、建築計画、構造力学、建築生産、社会	319
	実 技	器工具使用法、機械操作実習、工作実習、基礎工事実習、施工実習、安全衛生作業法、建築作業	1,102
	合 計		1,421
左 官 科	学 科	建築生産概論、建築構造、建築設備、建築製図、建築仕上法、安全衛生、関係法規、造形、材料、左官施工法、タイル施工法、仕様及び積算、社会、体育	428
	実 技	機械操作基本実習、調合実習、足場実習、安全衛生作業法、測定及び墨出し実習、下地施工実習、左官施工実習、タイル施工実習	993
	合 計		1,421
介 護 サ ー ビ ス 科	学 科	職務の理解、介護における尊厳の保持・自立支援、介護の基本、介護・福祉サービスの理解と医療との連携、老化の理解、認知症の理解、障がいの理解、介護職員初任者研修修了試験、社会、体育、生活習慣、労働習慣、導入訓練	171
	実 技	介護におけるコミュニケーション技術、こころとからだのしくみと生活支援技術、振り返り、職場実習、就業課題克服訓練、補完体育、家事基本演習、安全衛生作業法、普通救命講習、造形演習、情操活動、パソコン演習、社会生活技能訓練	1,250
	合 計		1,421

(3) 訓練生の状況（施設内訓練）

① 入校状況及び在籍者数

ア 年度別（令和7・8年度）

（単位：人）

令和8年4月現在

区分	訓練科	令和7年度					令和8年度					2在 年籍 生数	在 籍 数
		定員	応募 者数	合格 者数	入校 者数	入校 率	定員	応募 者数	合格 者数	入校 者数	入校 率		
普通課程	美容科	20	26	20	20	100	20	26	20	20	100	15	35
	自動車工学科	20	28	20	20	100	20	24	18	15	75	17	32
	住環境・土木科	10	9	8	8	80	10	4	4	4	40	5	9
	ものづくり 機械加工科	10	5	5	5	50	10	3	3	3	30		3
	Webデザイン科	10	12	10	10	100	10	8	7	5	50		5
短期課程	建築科	15	6	6	6	40	15	10	10	10	67		10
	左官科	10	5	5	5	50	10	4	3	3	30		3
	介護サービス科	10	3	3	3	30	10	4	4	4	40		4
合 計		105	94	77	77	73	105	83	69	64	61	37	101

イ 年齢別、男女別在籍者数 令和8年度

（単位：人）

令和8年4月現在

区分	訓練科	在 籍 数	17才以下	18～20才	21～25才	26～30才	31才以上
普通課程	美容科	35 (27)	()	32 (24)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
	自動車工学科	32 (1)	()	25 (1)	6 ()	()	1 ()
	住環境・土木科	9 (1)	()	9 (1)	()	()	()
	ものづくり 機械加工科	3 ()	()	2 ()	()	()	1 ()
	Webデザイン科	5 (5)	()	2 (2)	2 (2)	1 (1)	()
短期課程	建築科	10 ()	1 ()	9 ()	()	()	()
	左官科	3 (1)	1 ()	()	1 (1)	()	1 ()
	介護サービス科	4 ()	()	3 ()	1 ()	()	()
合 計		101 (35)	2 ()	82 (28)	11 (4)	2 (2)	4 (1)

記載例：40 (30) () 内は女性の数

ウ 市郡別在籍状況 令和8年度

(単位：人)

令和8年4月現在

区 分		市									郡						県 外	合 計
		安 来 市	松 江 市	出 雲 市	雲 南 市	大 田 市	江 津 市	浜 田 市	益 田 市	計	仁 多 郡	飯 石 郡	邑 智 郡	鹿 足 郡	隠 岐 郡	計		
普 通 課 程	美 容 科	2	5	22		2	1			32			1		1	2	1	35
	自動車工学科		6	16	3	3	1		1	30		1			1	2		32
	住環境・土木科		2	3			1	1	1	8							1	9
	ものづくり 機 械 加 工 科		1	1											1			3
	Webデザイン科		4	1						5								5
短 期 課 程	建 築 科		4	2		1				7	1		1			2	1	10
	左 官 科			2				1		3								3
	介護サービス科			3			1			4								4
合 計		2	22	50	3	6	4	2	2	89	1	1	2		3	6	3	101

エ 年度別応募者数・入校者数・修了者数の状況

(単位：人)

令和8年4月現在

年 度 別	定 員 数	応 募 者 数	入 校 者 数	修 了 者 数	応 募 率 (%)
令和8	105	83	64	—	79
令和7	105	94	77	57	90
令和6	105	80	71	64	76
令和5	105	97	81	58	92
令和4	105	77	65	58	75
令和3	106	86	75	59	81
令和2	105	91	73	62	87
令和元	100	95	78	59	95
平成30	100	95	76	61	95
平成29	100	79	62	53	79
平成28	100	86	65	62	86
平成27	100	99	79	67	99

② 訓練生就職状況

(単位：人) 令和8年3月31日現在

区 分		修了者														県外就職者	就職者		進学	未就職者数
			安来市	松江 市	出雲 市	雲南 市	大田 市	江津 市	浜田 市	益田 市	仁多 郡	飯石 郡	邑智 郡	鹿足 郡	隠岐 郡		関連	非関連		
普通課程	美容科	14		6	8											14				
	自動車工学科	11		10	1											11				
	住環境・土木科	8		1	3			2							2	8				
	ものづくり 機械加工科	5	1		2	1									1	4	1			
	Webデザイン科	7		3	2											4	1		2	
短期課程	建築科	6		1	3		1	1								6				
	左官科	3			2	1										2	1			
	介護サービス科	3	1		1				1							3				
合 計		57	2	21	22	2	1	3	1						3	52	3		2	

就職先例

美 容 科	(株)SMITH、(株)Rendez-Vous、(有)ミュー lamiell. Group、(有)エスエムケイエム Hair Make flapper、(有)草谷、(株)ブランメゾン、(有)ベラミ美容室、(有)ラ・クーブ
自 動 車 工 学 科	(株)スズキ自販島根、(株)島根マツダ、島根トヨタグループ、島根ダイハツ販売(株)、山陰スバル(株)、西日本三菱自動車販売(株)、島根トヨペット(株)、UDトラックス(株)、いすゞ自動車中四国販売(株)、島根日野自動車(株)、三菱ふそうトラック・バス(株)、島根日産自動車(株)、(株)日産サティオ島根、島根中央ホンダ販売(株)、(株)ホンダクリオ西島根、(株)ホンダクリオ島根、(株)オートライフビュー、(有)オートボデーケイ、(有)ミサキ自動車、(株)ヤマト、(株)山陰イエローハット、オートボックス美作グループ、レッド バロン、(有)ユー・プラン、ミスタータイヤマン三成 他
住 環 境 ・ 土 木 科	サンベ電気(株)、(株)太陽水道工事、(有)柳樂工業、(株)後藤建設、祥洋建設(株)、(株)サンクラフト、(株)金田建設、イズテック(株)、(株)フクダ、昭栄電気(株)、梅木建設(株)、(株)都間土建、(株)イマスイ、(株)大隆設計、島根電工(株)、森島建設(株)、松江土建(株)、雲南建設(株)、今井産業(株)、(株)吾郷設備、(株)共立エンジニア、山陰開発コンサルタント(株)、イマックス(株)、山陰冷暖(株)、(有)斐川水道、(株)中筋組、島建コンサルタント(株)、(株)技研設備、今岡工業(株)、(株)トガノ建設、日発工業(株)、一畑住設(株)、山陰水道工業(株)、(有)神門組、(有)横地建設、(株)新宮組、(有)柿田設備工業 他
も の づ く り 機 械 加 工 科	(株)出雲村田製作所、協栄金属工業(株)、(株)コウダイ、清和ジーテック(株)、トップ金属工業(株)、(株)中田製作所、秦精工(株)、(株)秦鉄工所、ヒラタ精機(株)、(株)HIRO 産業、(株)プロテリアル安来工場、丸高工業(株)、(株)吉川製作所 他
Web デ ザ イ ン 科	(株)ヒニアラタ、トレンドーズ(株)、(株)アイティーエスピー、(株)プロビズモ、(株)松江情報センター、(株)吉田写真堂、(株)T.T.C、WordUtility(株)、(有)ヤマダ看板、(株)スタイルリング、(有)松陽印刷、(株)谷口印刷、(有)高浜印刷、中央建設(株)(広告担当)、(有)日本庭園由志園(インハウスデザイナー)、(株)モット ※過去3年就職企業掲載(順不同)

建 築 科	(株)勝部建築、(株)金見工務店、(株)いちい、(株)森下建設、(有)金田建築、(株)吉崎工務店、(株)装備、(株)ヤマノ建築、(株)金田建設、(株)飯塚建築、(株)傑昇建築、(株)イトウケンチュク、昭和開発工業(株)、(有)日野工務店、(有)重岡工務店、(有)石川工務店、(有)渡辺眞工務店、(有)太田建材 他
左 官 科	(有)小沢工業、(株)糸原左工房、(株)藤原技研工業、足立左官工業、(有)浜松工業所、(有)石田工務店、(有)中村技建工業、(有)坪倉工業、権田左工、左官屋錦織、(株)陰山左官工業所、黒崎左官工業、(有)マスハラ技建 他
介護サービス科	ひまわり福祉会、ドリームシステム、吾郷会、水澄み会、ひょうま、吉賀町社会福祉協議会、仁摩福祉会、神門福祉会、しろがねの里、いわみ福祉会、湖北ふれあい、静和会、ナカヤ、ほのぼの会、太陽とみどりの里、やすぎ福祉会、おおつか福祉会 他

4. 訓練生の支援制度

項 目	内 容
通 学 費	訓練期間が1年以上の訓練科の場合、鉄道、バス等の利用者には学生割引が適用されます。
寄 宿 舎	通学困難な方には寄宿舍があります。 寮費（食費込）月額42,000円（寄宿舍使用料別途）
災害見舞金支給制度	訓練中や通校中に負傷等した場合は、災害見舞金支給制度があります。
雇用保険給付制度	公共職業安定所長の指示により入校された雇用保険受給資格者の方は訓練期間中、基本手当の延長給付及び技能習得手当が支給されます。
訓練手当支給制度 (労働施策総合推進法)	公共職業安定所長の指示により入校された方で一定の要件を満たす場合には、訓練手当が支給されます。（雇用保険給付と併給はできません。）
求職者支援制度	雇用保険を受給できない方が公共職業安定所の支援指示を受けて、公共職業訓練又は求職者支援訓練を受講し、一定の要件を満たす場合、職業訓練受講給付金（職業訓練受講手当と通所手当）が支給されます。 ※要件についてはハローワークの窓口で確認をしてください。
授業料等減免	経済的な理由等により授業料等の納付が困難な方については、一定の条件のもとに減免が受けられます。 入校料及び授業料 『全額減免、2/3減免または1/3減免』 寄宿舍使用料 『半額減免または1/4減免』
奨学金貸付制度 (技能者育成資金融資制度)	経済的な理由などで職業訓練を受けることが困難な方に対して、民間金融機関から有利子（2%）・無担保で学資資金を融資する制度があります。（年額360,000円～410,000円。普通課程の訓練科に限る。詳細は高等技術校にお問い合わせください。） ※利率、金額は令和7年度のもので変更になる場合があります。

5. 入校料・授業料（普通課程）・寄宿舍使用料

経 費 項 目	金 額 (円)	対 象
入 校 料	5,650	【普通課程に入校する者】 美容科、自動車工学科、住環境・土木科、ものづくり機械加工科、Web デザイン科 【短期課程に在職で入校する者】 建築科、左官科、介護サービス科 ※在職でない短期課程は無料
授 業 料	年額 118,800 (月額 9,900)	
寄宿舍使用料	月額 7,000	入寮者 ※月の途中で入寮または退寮された場合は日割計算します。

6. 委託訓練

①離職者等再就職訓練事業 令和7年度実施状況

訓練 区分	種別	訓 練 科 名	訓 練 期 間	定員	応募者数		入校者数	
					人数	応募率(%)	人数	入校率(%)
普 通 職 業 課 程 訓 練	長期高度人材育成コース	地域総合介護福祉学科(2年)	R6.4.2 ～ R8.3.19	2	2	100%	2	100%
	長期高度人材育成コース	保育・幼児教育学科(2年)	R6.4.2 ～ R8.3.19	1	1	100%	1	100%
	長期高度人材育成コース	こども総合学科(2年)	R6.4.10 ～ R8.3.12	1	1	100%	1	100%
	長期高度人材育成コース	国際自動車整備士学科(2年)【中止】	R6.4.10 ～ R8.3.12	1	0	0%	0	0%
	長期高度人材育成コース	I T 学 科(2年)	R6.4.10 ～ R8.3.12	3	5	167%	3	100%
	長期高度人材育成コース	地域経済医療事務学科 地域経済コース(2年)【中止】	R6.4.10 ～ R8.3.12	2	0	0%	0	0%
	長期高度人材育成コース	地域経済医療事務学科 医療事務コース(2年)【中止】	R6.4.10 ～ R8.3.12	1	0	0%	0	0%
	長期高度人材育成コース	動物学科(2年)【中止】	R6.4.10 ～ R8.3.12	2	0	0%	0	0%
	長期高度人材育成コース	理 容 学 科(2年)【中止】	R6.4.2 ～ R8.3.31	3	0	0%	0	0%
	長期高度人材育成コース	准 看 護 科(2年)	R6.4.10 ～ R8.3.10	6	6	100%	6	100%
	長期高度人材育成コース	栄 養 士 養 成 科(2年)	R6.4.10 ～ R8.3.13	5	5	100%	5	100%
	長期高度人材育成コース	調理師養成科(2年)【中止】	R6.4.10 ～ R8.3.13	1	2	200%	0	0%
	長期高度人材育成コース	介 護 福 祉 学 科(2年)	R6.4.9 ～ R8.3.17	2	2	100%	2	100%
	長期高度人材育成コース	こども保育学科(2年)	R6.4.9 ～ R8.3.17	4	4	100%	4	100%
	長期高度人材育成コース	こども福祉科(2年)	R6.4.5 ～ R8.3.12	1	3	300%	1	100%
	長期高度人材育成コース	医 療 ビ ジ ネ ス 科(2年)	R6.4.5 ～ R8.3.12	2	2	100%	2	100%
	長期高度人材育成コース	情 報 シ ス テ ム 科 (ITビジネスコース)(2年)	R6.4.5 ～ R8.3.12	1	1	100%	1	100%
	長期高度人材育成コース	情 報 シ ス テ ム 科 (システムエンジニアコース)(2年)	R6.4.5 ～ R8.3.12	11	14	127%	11	100%
	普通課程(長期コース2年)計			49	48	98%	39	80%
	長期高度人材育成コース	地域総合介護福祉学科(1年)【中止】	R7.4.3 ～ R9.3.31	2	0	0%	0	0%
	長期高度人材育成コース	保育・幼児教育学科(1年)	R7.4.3 ～ R9.3.31	2	3	150%	2	100%
	長期高度人材育成コース	こども総合学科(1年)【中止】	R7.4.8 ～ R9.3.31	3	0	0%	0	0%
	長期高度人材育成コース	国際自動車整備士学科(1年)	R7.4.8 ～ R9.3.31	1	1	100%	1	100%
	長期高度人材育成コース	I T 学 科(1年)【中止】	R7.4.8 ～ R9.3.31	5	0	0%	0	0%
	長期高度人材育成コース	地域経済医療事務学科 地域経済コース(1年)【中止】	R7.4.8 ～ R9.3.31	4	0	0%	0	0%
	長期高度人材育成コース	地域経済医療事務学科 医療事務コース(1年)【中止】	R7.4.8 ～ R9.3.31	2	0	0%	0	0%
	長期高度人材育成コース	動 物 学 科(1年)	R7.4.8 ～ R9.3.31	8	9	113%	8	100%
	長期高度人材育成コース	准 看 護 科(1年)	R7.4.10 ～ R9.3.31	4	8	200%	4	100%
	長期高度人材育成コース	栄 養 士 養 成 科(1年)	R7.4.10 ～ R9.3.31	3	3	100%	3	100%
	長期高度人材育成コース	製菓衛生師・調理師養成科(1年)	R7.4.10 ～ R9.3.31	3	5	167%	3	100%
	長期高度人材育成コース	調理師養成科2年制コース(1年)	R7.4.10 ～ R9.3.31	2	2	100%	2	100%
	長期高度人材育成コース	調理師養成科1年制コース(1年)	R7.4.10 ～ R8.3.13	2	5	250%	2	100%
	長期高度人材育成コース	介 護 福 祉 学 科(1年)【中止】	R7.4.15 ～ R9.3.31	5	0	0%	0	0%

訓練 区分	種別	訓 練 科 名	訓 練 期 間	定員	応募者数		入校者数	
					人数	応募率(%)	人数	入校率(%)
普通 課程	長期高度人材育成コース	こども保育学科(1年)	R7.4.15 ～ R9.3.31	4	4	100%	4	100%
	長期高度人材育成コース	医療ビジネス科(1年)	R7.4.8 ～ R9.3.31	2	2	100%	2	100%
	長期高度人材育成コース	情報システム科 (ITビジネスコース)(1年)	R7.4.8 ～ R9.3.31	2	4	200%	2	100%
	長期高度人材育成コース	情報システム科 (システムエンジニアコース)(1年)	R7.4.8 ～ R9.3.31	12	13	108%	12	100%
	普通課程(長期コース1年)計			66	59	89%	45	68%
	普通課程 計			115	107	93%	84	73%
	eラーニングコース	WEBアプリ開発科(在宅受講)①	R7.6.3 ～ R7.11.28	7	7	100%	7	100%
	知識等習得コース	情報ビジネス科①	R7.6.3 ～ R7.8.29	15	7	47%	6	40%
	知識等習得コース	PC & 観光おもてなし科	R7.6.3 ～ R7.9.30	15	11	73%	9	60%
	知識等習得コース	パソコン基礎科(出雲)	R7.6.3 ～ R7.8.29	15	18	120%	15	100%
	知識等習得コース	PC基礎・簿記初級科	R7.6.3 ～ R7.8.29	15	14	93%	12	80%
	知識等習得コース	パソコン・FP基礎科①	R7.7.1 ～ R7.9.30	15	6	40%	6	40%
	定住外国人職業訓練コース	定住外国人PC科	R7.7.1 ～ R7.10.31	15	16	107%	15	100%
	知識等習得コース	活かせる!経理・事務科	R7.7.2 ～ R7.10.31	15	20	133%	15	100%
	知識等習得コース	パソコンも学べる経理事務科	R7.8.1 ～ R7.11.28	15	7	47%	7	47%
	知識等習得コース	就職に役立つパソコン基礎科	R7.8.1 ～ R7.10.31	15	10	67%	9	60%
	知識等習得コース	介護実務者研修科(出雲)	R7.8.1 ～ R8.1.30	15	9	60%	9	60%
	高齢求職者スキルアップ・ スキルチェンジコース	ビジネス活用PC科(シニア)	R7.8.1 ～ R7.9.30	15	13	87%	11	73%
	知識等習得コース	情報ビジネス科②	R7.9.2 ～ R7.11.28	15	6	40%	5	33%
	知識等習得コース	介護初任者研修科(雲南)	R7.9.2 ～ R7.11.28	15	6	40%	5	33%
	大型自動車一種運転 業務従事者育成コース	大型自動車運転手養成科	R7.9.2 ～ R7.10.31	8	6	75%	5	63%
	知識等習得コース	PC・介護初任者科	R7.9.2 ～ R7.11.28	15	7	47%	4	27%
	知識等習得コース	メディカルクラーク科	R7.10.1 ～ R8.1.30	15	8	53%	6	40%
	知識等習得コース	介護実務者研修科(松江)【中止】	R7.10.1 ～ R8.3.31	15	2	13%	0	0%
	知識等習得コース	簿記パソコン科	R7.10.1 ～ R8.1.30	15	24	160%	15	100%
	eラーニングコース	WEBアプリ開発科(eラーニング)②	R7.10.1 ～ R8.3.31	23	22	96%	20	87%
	知識等習得コース	パソコン・FP基礎科②	R7.11.5 ～ R8.1.30	15	8	53%	8	53%
	知識等習得コース	ビジネス活用PC科	R7.11.5 ～ R8.1.30	15	12	80%	12	80%
	知識等習得コース	情報ビジネス科③	R7.12.2 ～ R8.2.27	15	9	60%	8	53%
	知識等習得コース	医療事務パソコン科	R7.12.2 ～ R8.3.31	15	11	73%	10	67%
	知識等習得コース	PC基礎・経理事務科	R7.12.2 ～ R8.3.31	15	11	73%	11	73%
	定住外国人職業訓練コース	定住外国人介護科	R7.12.2 ～ R8.3.31	15	9	60%	7	47%
	高齢求職者スキルアップ・ スキルチェンジコース	パソコン基礎科(シニア)	R8.2.3 ～ R8.3.31	15	6	40%	6	40%
短期課程 計				398	285	72%	243	61%
合 計			63コース	513	392	77%	327	64%

②障がい者委託訓練

令和7年度実施状況（松江管内）

訓練科	コース	障がい種別	期間	入校者数	訓練内容
オフィススペシャリスト科①	知識・技能	精神身体	6月3日～8月29日	4	①ワード、エクセル、パワーポイント、インターネット、電子メールが仕事でできるレベルに達する ②エクセルはMOS2019試験資格取得 ③就職に必要な職業人としての職業能力の習得 ④訓練をとおして自信をつけ、積極的な就職活動ができる人材を育成
清掃スタッフ養成科	実践	精神	7月1日～8月31日	1	施設内清掃（玄関、フロア、大浴場など）、施設外環境整備（草刈りなど）
機材整備補助科	実践	知的	8月19日～10月17日	1	建設用仮設機材の検収・整備
厨房作業科	実践	知的	9月2日～10月31日	1	弁当箱の洗浄・調理・盛り付け 清掃作業・配達補助
厨房作業科②	実践	身体	9月18日～11月17日	1	弁当箱の洗浄、調理器具の洗浄、食材の下処理
オフィススペシャリスト科②	知識・技能	精神身体	10月7日～12月26日	5	①ワード、エクセル、パワーポイント、インターネット、電子メールが仕事で活用できるレベルに達する ②エクセルはMOS2019試験資格取得 ③就職に必要な職業人としての職業能力の習得 ④訓練をとおして自信を付け、積極的な就職活動ができる人材を育成
厨房スタッフ養成科	早期	知的	1月19日～2月6日	1	洗浄作業、食材の下処理・盛り付け、清掃作業
紙製品加工製造科	早期	精神	1月19日～2月6日	1	ファイルの組立
合 計				15	※修了者15名、うち14名が就職

令和7年度 実施状況（出雲管内）

訓練科	コース	障がい種別	期間	入校者数	訓練内容
椎茸栽培科	実践	精神	4月2日～5月30日	1	菌床椎茸の栽培に係る業務全般
プラスチック製品製造科	実践	精神	8月19日～10月10日	1	食品用プラスチック容器の製造に係る業務全般
椎茸栽培科②	実践	精神	11月11日～1月9日	1	菌床椎茸の栽培に係る業務全般
介護補助科	早期	知的	10月8日～10月29日	1	介護サービス全般に係る補助的な業務
パソコン組立科	実践	精神	12月2日～1月30日	1	デスクトップパソコンの組み立て・梱包作業
合 計				5	※修了者5名、うち5名が就職

7. 在職者研修

①内定者・新入社員研修支援事業 令和7年度実施状況

研 修 名	開催 地区	開 催 場 所	研 修 期 間	講 師	定員	受講 者数	受講 企業 団体	研 修 目 的 ・ 内 容
新入社員合同研修春期	松江	テクノアークしまね	令和7年6月16日 9：00～16：00	株式会社 キャリ・ソフィア 代表取締役 木山 美佳 氏	40名	36名	16社	(1) オリエンテーション (2) 振り返りと自己成長 (3) チームの一員として貢献するために (4) ビジネスマナー復習 (5) ミス防止の意識を持つ (6) コミュニケーション力を磨く (7) 目標設定 (8) まとめ（自己目標設定）
	出雲	パルメイト出雲	令和7年6月17日 9：00～16：00		40名	70名	28社	
合 計						106名	44社	

研 修 名	開催 地区	開 催 場 所	研 修 期 間	講 師	定員	受講 者数	受講 企業 団体	研 修 目 的 ・ 内 容
新入社員合同研修秋期 DXセミナー	松江	テクノアークしまね	令和7年10月28日 9:00～16:40	【新入社員研修講師】 株式会社 キャリ・ソフィア 代表取締役 木山 美佳 氏	40名	22名	12社	(1) オリエンテーション (2) 振り返りと自己成長 (3) チームに貢献する仕事を身に 付ける（体感ゲーム、ペーパー タワー） (4) 社内コミュニケーション力を磨く (5) 目標設定 (6) まとめ 【DXセミナー】 (1) どうしてデジタル化する？
	出雲	朱鷺会館	令和7年10月29日 9:00～16:40	【DXセミナー講師】 島根県産業振興課 産業デジタル推進室 西部地区 IT 振興スタッフ 大櫃 秀治 氏	40名	55名	18社	
合 計						77名	30社	

就職内定者 合同研修	出雲	パルメイト出雲	令和8年2月3日 令和8年2月4日 令和8年2月5日 【午前の部】 9：00～12：00 【午後の部】 13：00～16：00	株式会社 インタープロス ビジネス コーディネーター 吉田 由佳 氏	－	268名	8校	(1) オリエンテーション (2) 社会生活の中でのコミュニケーションの重要性 (3) 職場コミュニケーションの基となるビジネスマナーを知る (4) 報告、連絡、相談で社内コミュニケーションを磨く (5) 目標設定 (6) 働くルールハンドブックについて
	松江	県松江合同庁舎	令和8年2月9日 豪雪のため中止 令和8年2月10日 令和8年2月12日 【午前の部】 9：00～12：00 【午後の部】 13：00～16：00		－	221名	8校	
合 計						489名	16校	

②しまねいきいき職場づくり推進事業【若手社員（入社３年以内）育成支援事業】
令和７年度実施状況

研 修 名	開催 地区	開催場所	研修期間	講師	定員	受講 者数	受講 企業 団体	研 修 目 的 ・ 内 容
コミュニケーション 実践研修 DXセミナー	出雲	朱鷺会館	令和７年10月14日 9：00～16：40	【若手社員研修講師】 有限会社 ヒューマンギルド 総合研修 プロデューサー 熊野 英一 氏	40名	47名	17社	(１) オリエンテーション (２) 「勇気づけ」コミュニケーション とは (３) お悩みディスカッション (４) 自分のコミュニケーションのク セを知る (５) 伝え方の工夫を知る (６) 幸せの３条件とは (７) まとめ
	松江	テクノアークしまね	令和７年10月15日 9：00～16：40	【DXセミナー講師】 島根県産業振興課 産業デジタル推進室 西部地区 IT 振興スタッフ 大櫃 秀治 氏	40名	27名	10社	【DXセミナー】 (１) どうしてデジタル化する？
合 計						74名	27社	

③産業人スキルアップセミナー
令和７年度実施状況

セミナー名	会 場	開催日	受講 時間	定員	受講 者数	受講 企業数	セミナー内容
規矩術講習会	東部高等技術校 建築科実習場	５月25日、 ６月15日、29日 （３日間）	20	10	12	9	現寸図による寸法の出し方 勾配基本図による寸法の出し方 墨付け
技能検定準備講習会 (左官作業)	東部高等技術校 左官科実習場、教室	実技：６月21日、22日 （２日間）	14	10	4	2	１級、２級の課題練習
		学科：８月２日、３日 （２日間）	12	10	4	2	過去問題の解説
家具・建具技能検定 受検準備講習会	東部高等技術校 建築科実習場	６月21日、22日 （２日間）	12	10	6	6	道具の手入れ方法 各課題の練習
建築技能講習会 (宮大工 吊り灯籠製作)	建築安部作業場 (松江市八雲町)	７月20日、９月14日 （２日間）	14	10	9	9	吊り灯籠製作
竹垣講習会	しまね花の郷 (出雲市西新町)	11月13日、14日 （２日間）	12	20	18	11	学科：竹垣の基本や作成のポイント 実技：竹垣の設置、加工（割方）方法
SOLIDWORKS 応用セミナー part 2	東部高等技術校 ものづくり機械加工科 パソコン室	11月20日、21日 （２日間）	12	5	3	3	グローバル変数と関係式 コンフィギュレーション SOLIDWORKS アニメーション機能 SOLIDWORKS 設計支援・検証機能紹介
鑄造技術者初級研修	テクノアークしまね (松江市北稜町)	10月３日、４日 11月21日、22日 （４日間）	18	40	12	7	鑄造技術及び生産管理の基礎
技能検定準備講習会 (大工工事作業)	東部高等技術校 建築科実習場	11月30日、 12月７日、14日、21日 （４日間）	28	10	13	10	１級、２級の課題練習
技能検定対策セミナー (和裁製作)	武田和裁教室 (出雲市芦渡町)	12月15日、18日、22日 1月15日、19日、22日 （６日間）	18	5	3	3	各課題の練習
合 計				130	84	62	

④技能伝承人材育成事業
令和7年度実施状況

セミナー名	会 場	開催日	受講 時間	定員	受講 者数	受講 企業数	セミナー内容
左官技能検定対策セミナー 【中止】	東部高等技術校 左官科実習場	2月21日、 3月1日、8日 (3日間)	18	10	—	—	課題練習 墨出し、チリ塗り、角測り、中塗り、 上塗り
墨付け技能講習会	東部高等技術校 建築科実習場	1月12日～ 3月29日まで (10日間)	70	10	7	6	作業の段取り (図面の作成、尺杖の作成) 施行実習
合 計				20	7	6	

⑤Off-JT（実践型人材養成システム）受託事業
令和7年度実施状況

Off-JT コース名	開催場所	訓練期間	参加 企業数	受講 者数	訓練目的、内容
電気工事人材 養成コース	東部高等技術校	4月7日～5月22日 23日間	4社	8名	電気工事業における基本的な知識・技能の修得を目指し、 電気理論、安全衛生、電気関係法規等の学科及び器工具使用 法等の基礎から配電盤・制御盤配線までの実技を実施
建設コンサルタント 技術者養成コース	東部高等技術校	Aコース：35日間 4月14日～7月4日	7社	12名	測量事業における基本的な知識・技能の修得を目指し、測 量設計業の概論、測量基礎、応用測量、地質調査、設計演 習の学科及び測量演習、ドローン操作実習、 災害業務の演習を実施
		Bコース：25日間 4月14日～6月13日	5社	10名	
給排水・空調設備人材 養成コース	東部高等技術校	5月7日～6月20日 17日間	6社	14名	管工事業における基本的な知識・技能の修得を目指し、配 管概論、給排水衛生設備、空気調和設備、配管施工法等の 学科及び水準測量実習、配管・空調基本実習、設計製図実 習の実技を実施
合 計			22社	44名	

⑥ 3D 技術者育成支援事業

令和7年度実施状況（内部講師分）

（1）ソリッドワークス基礎セミナー

学校・企業名	開催日	参加者数 (実数)	内 容
A 社	5 月28日	1 名	・ 3DCADの概要 ・ ソリッドボディモデリング基礎
B 社	5 月29日	1 名	・ モデリング基礎 ・ アセンブリ
C 社	5 月30日	1 名	・ モデリング基礎 ・ ドラフティング
D 社	6 月 9 日	1 名	・ 3DCADの概要 ・ ソリッドボディモデリング基礎
E 社	6 月10日	1 名	・ モデリング基礎
F 社	6 月11日	1 名	・ モデリング基礎 ・ アセンブリ
G 社	9 月 8 日	2 名	・ 3DCADの概要 ・ ソリッドボディモデリング基礎
H 社	9 月11日	3 名	・ モデリング基礎 ・ アセンブリ
I 社	9 月19日	3 名	・ モデリング基礎 ・ ドラフティング基礎
J 社	10月 7 日	2 名	・ モデリング基礎 ・ アセンブリ基礎 ・ ドラフティング基礎
K 社	10月 8 日	2 名	・ モデリング基礎 ・ ドラフティング基礎
L 社	10月22日	2 名	・ モデリング基礎 ・ アセンブリ
M 社	11月10日	1 名	・ モデリング基礎 ・ アセンブリ基礎 ・ ドラフティング基礎
N 社	11月11日	1 名	・ モデリング基礎 ・ ドラフティング基礎
O 社	11月17日	1 名	・ モデリング基礎 ・ アセンブリ
計		23名	

（2）ものづくり授業

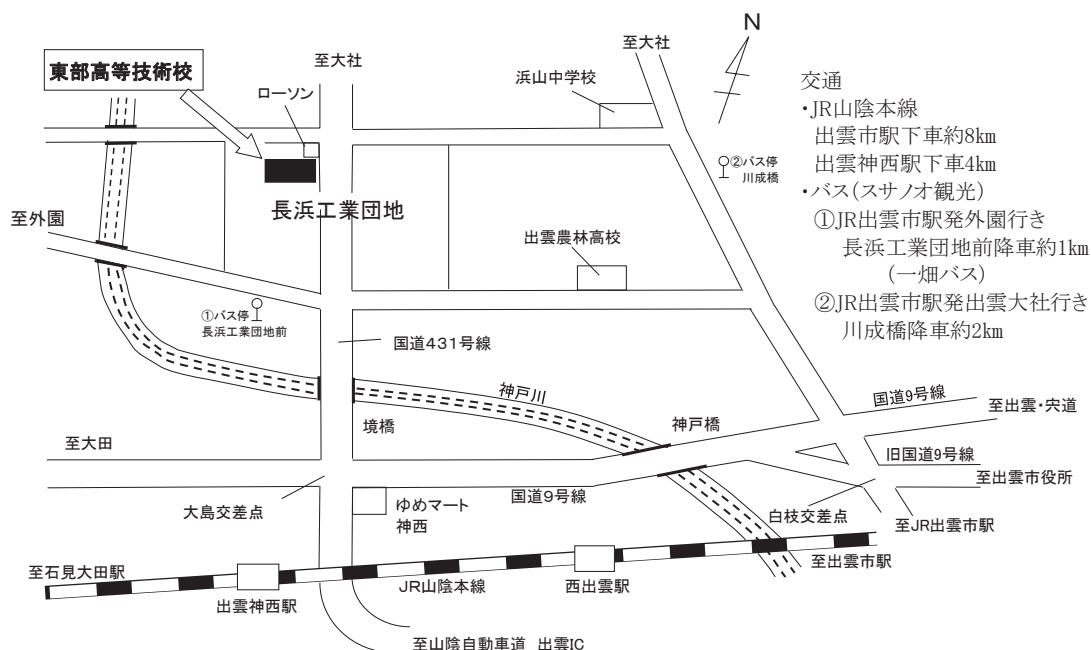
学校・企業名	開催期間	参加者数	内 容
宍道高校	7 月 4 日～11月 7 日 全11回	延べ77名	・ ソリッドボディモデリング・アセンブリ

8. 技術校位置図・施設配置図

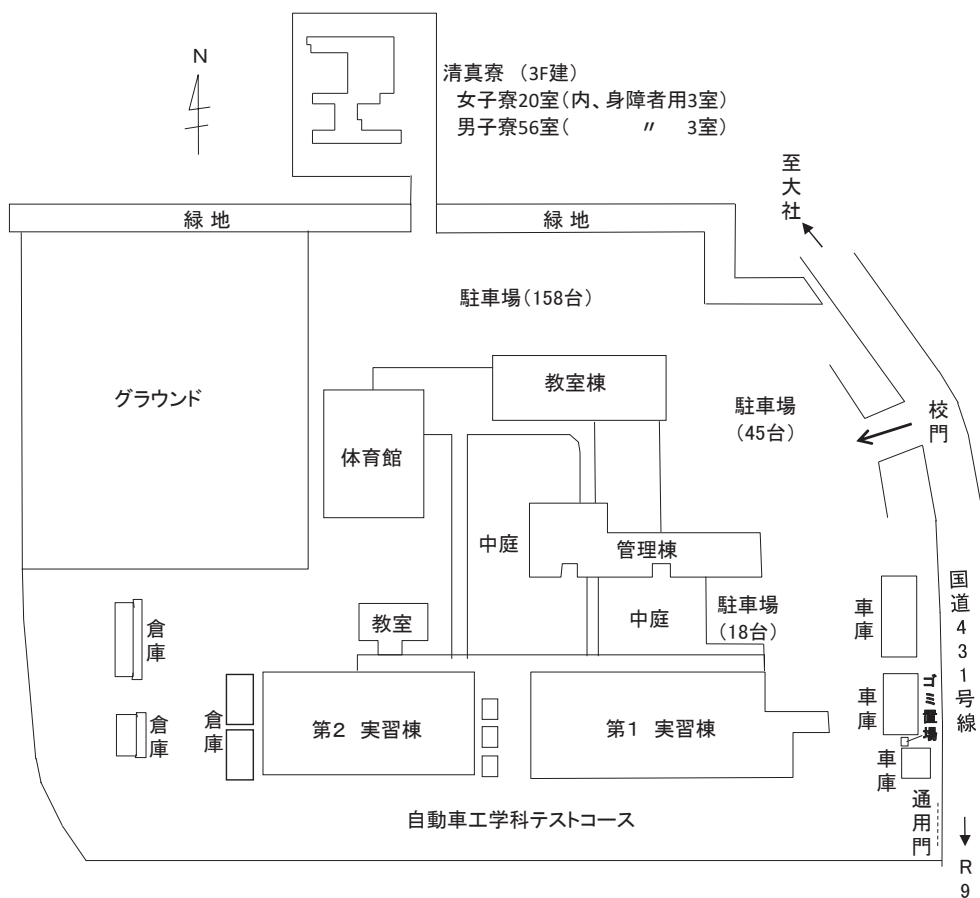
所在地 出雲市長浜町 3057-11

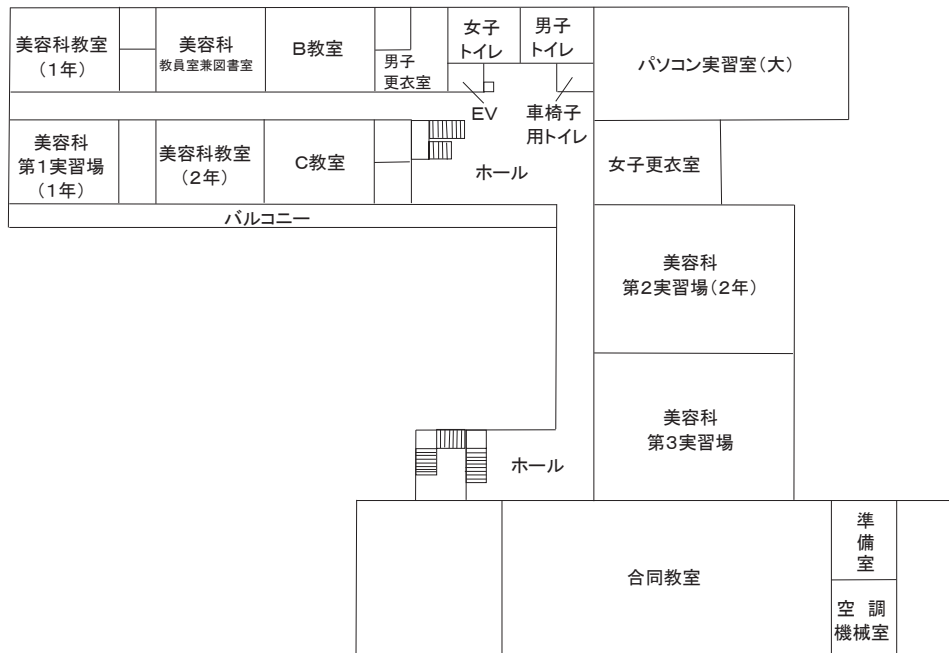
寄宿舎 出雲市荒茅町 3341-1

技術校位置図

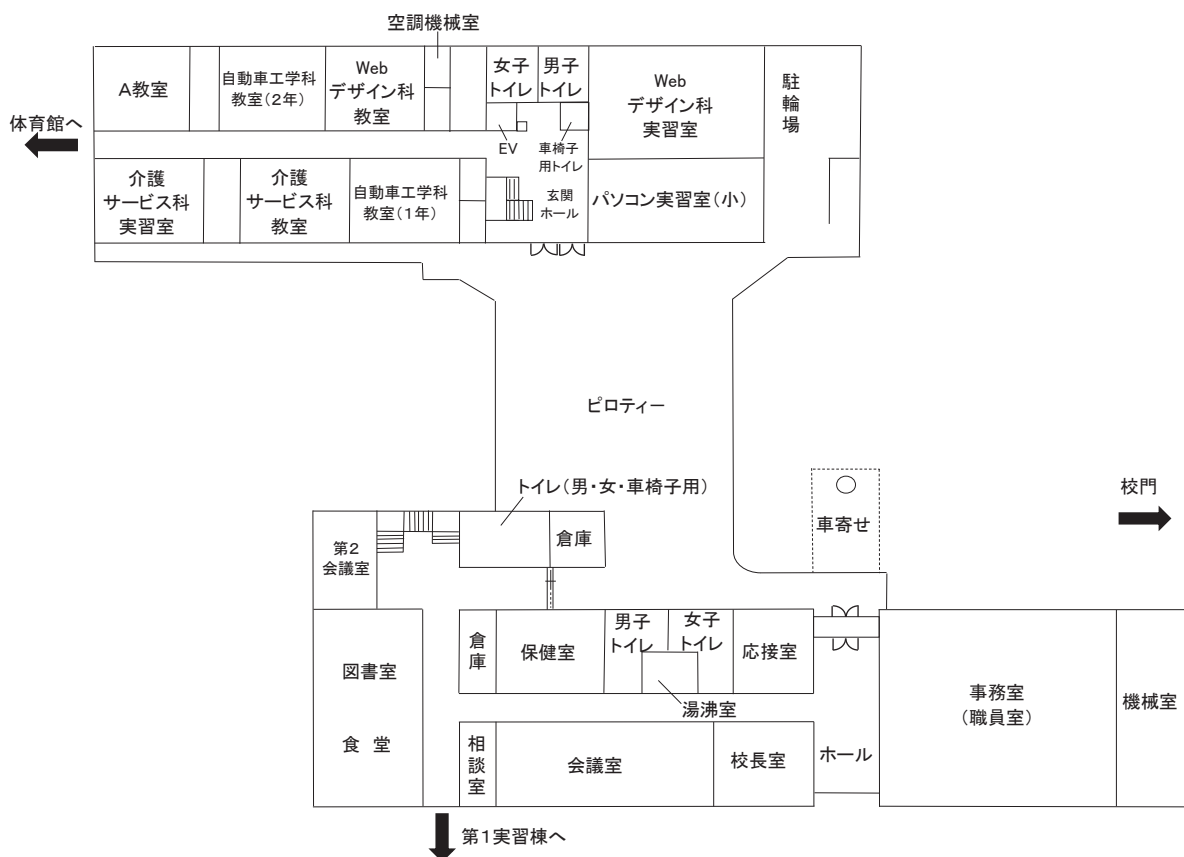


施設配置図





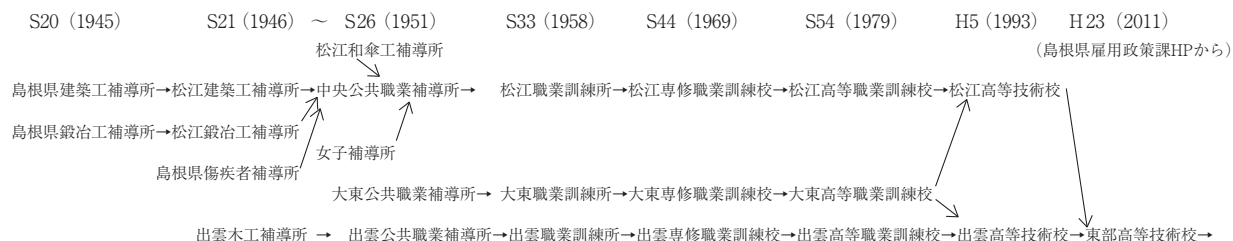
管理棟・教室棟 2 階平面



管理棟・教室棟 1 階平面

9. 東部高等技術校の沿革

概要



沿革

東部高等技術校は、昭和20年代前半にできた松江、大東、出雲の3校を併せ、平成23年4月から出雲校の施設を利用して設置されている。70年以上にわたり、社会情勢に応じて、施設、訓練内容を変えながら、地域に必要な人材に対応した訓練を行い、令和7年現在、施設内外で、求職者、離転職者、在職者の職業訓練・研修を行っており、法や制度の動向、施設改廃、訓練内容異動などの沿革を暦年で記載した。

この沿革は、東部高等技術校の母体となった松江、大東、出雲の3校と東部校の要覧や募集要項など技術校に関係する書類、法律の解説書、国県市町の誌書、HPなどを参考に作成した。

凡例 以下のページ右の摘要欄で、「松江」、「大東」、「出雲」、「東部」は松江高等技術校、大東高等職業訓練校、出雲高等技術校、東部高等技術校の沿革であることを示し、「共通」とあるのは、松江、大東、出雲の3校(～H5.3)、松江、出雲の2校(～H23.3)に共通した沿革、または法や制度、県の制度、地域の職業能力開発施設設置などの動きを指す。

なお、「島根総合職業補導所(松江市東朝日町小浜)」は、法改正に応じ、労働福祉事業団、雇用促進事業団、独立行政法人雇用・能力開発機構を経て独立行政法人高齢・障害・求職者支援機構島根支部島根職業訓練支援センター/島根職業能力開発促進センター(ポリテクセンター島根)になっている。

年月日	内 容	摘要
【職業補導所】昭和20年10月～昭和24年頃		
昭和20.10.	島根県建築工補導所、開設。松江市北田町48。(現愛隣会館付近)(S21改称)	松江
11.	島根県鍛冶工養成所、開設。松江市東朝日町57。(現市立松江第三中学校付近)(S21改称)	松江
21. 6.	島根県建築工補導所、鍛冶工養成所を、島根県立松江建築工補導所、同松江鍛冶工補導所に改称。(S22統合)	松江
22. 3. 3	出雲木工補導所、県が出雲工芸振興会へ委託して創立。出雲市今市町1004(現出雲市駅南周辺)。(S24改組)	出雲
【公共職業補導所】(中央、大東、出雲)昭和22年12月1日～昭和33年6月30日		
昭和22.11.30	職業安定法が公布。職業補導の全国統一基準が定められ(12月1日施行)、職業補導所が公共職業補導所と改称され、知事が設置運営することとなる。また、事業所への訓練の技術援助についても規定される。	共通
12.17	職業安定法の公布をうけ、島根県職業補導所規定の改正により、松江建築工補導所、松江鍛冶工補導所及び島根県傷疾者補導所を統合廃止し、島根県立中央公共職業補導所、発足。	
	松江市東朝日町宮の沖121。(現JR松江駅東周辺)(S47移設、H23統合廃止)	
	建築科(S39廃止、S46新設、H23移設) 木工科(家具)(S31移管廃止) 竹工芸科(S24廃止)	
	機械修理科(S24改称、S33移管廃止)	松江
12.17	島根県立和傘工補導所、開設。松江市魚町13。(S25統合廃止)	松江
12.17	島根県立女子補導所、開設。松江市外中原町3。(S26統合廃止)	松江
23. 5. 1	島根県立大東公共職業補導所、設立認可を受ける。	大東
9.18	島根県立大東公共職業補導所、設置。大東町南本町劇場跡。(S39移転)	
	木工科(竹工併設)を置く。(S27一部廃止、S49移管廃止)	大東
24. 4. 1	中央公共職業補導所、機械修理科を機械科と改称する。(S33移管廃止)	松江
4. 1	出雲木工補導所、島根県立出雲公共職業補導所となる。出雲市今市町1004(S44移設)。木工科25名を置く。	出雲
5.20	職業安定法が一部改正され、職場の監督者訓練の実施が始められることとなった。TWIの採用が決定。	共通
10. 1	中央公共職業補導所、竹工芸科を廃止。	松江
25. 4. 1	和傘工補導所、中央公共職業補導所に併合し、和傘科を設置。(S26廃止)	松江
4. 1	出雲公共職業補導所、分庁を大津町570に置き、陶磁器科(S33廃止)定員25人増設、寄宿舎併設(S41移設)。	出雲
25.	次年度以降、職業補導施設整備統合、機械関連職種の新増設、訓練期間6か月～1年に延長が図られる。	共通
4.17	職業補導員規定が制定される。	共通
26. 4. 1	出雲公共職業補導所、木工科を1年課程とする。	出雲
5.29	中央公共職業補導所、和傘科を廃止。	松江

年月日	内 容	摘 要
昭和		
5.29	女子補導所、中央公共職業補導所に併合し、洋裁科を設置。(S34廃止移管)。	松江
12. 5	大東公共職業補導所、木工科実習棟1棟を買収。	大東
27. 3.10	大東公共職業補導所、併設竹工を廃止。設置科は、木工科。	大東
4. 4.	出雲公共職業補導所、庁舎(事務所、理容科、美容科の教室)を出雲市今市町106(元出雲市役所周辺)に新設。理容科、美容科各25人増設。(S39移転)。	出雲
6.10	中央公共職業補導所、電気機器修理科(S31廃止移管)、溶接科、経理事務科(以上2科S28廃止)の増設。	松江
9	出雲公共職業補導所、厚生省から、理容師、美容師養成施設の指定を受ける。	出雲
28. 4. 1	中央公共職業補導所、溶接科、経理事務科を廃止。	松江
4. 1	出雲公共職業補導所、木工科、理容科、美容科、定員各30人に改正。	出雲
29.12. 2	国の制度改正により、夜間職業補導事業が開始される。	共通
30.	婦人に対する職業補導を拡充強化するため、内職公共職業補導所などが制度化される。	共通
30. 4.	出雲公共職業補導所、木工科実習場を増築。今市町1004。	出雲
9.20	中央公共職業補導所、機械科を第1機械科(昼間)、第2機械科(夜間)に改める。(S32再統合)	松江
31. 4. 1	失業保険福祉施設島根総合職業補導所、国設県営施設として松江市東朝日町小浜に設置される。	共通
5. 1	中央公共職業補導所、電気機器修理科を廃止し、島根総合職業補導所へ移管。	松江
10. 1	中央公共職業補導所、木工科を廃止し、島根総合職業補導所へ移管。	松江
32. 5.20	労働福祉事業団法が成立し事業団が設立され、総合職業補導所など失業保険福祉施設を運営することとなる。	共通
9. 1	中央公共職業補導所、第2機械科を廃止し、第1機械科を機械科に改称。	松江
33. 3.31	出雲公共職業補導所、分庁の陶磁器科を廃止。	出雲
4. 1	出雲公共職業補導所、分庁に小型自動車整備科30人増設。(S34改称)	出雲
4. 1	中央公共職業補導所、機械科を廃止し、島根総合職業補導所へ移行。設置科は、建築科、洋裁科。	松江
【職業訓練所】(松江、大東、出雲) 昭和33年7月1日～昭和44年9月30日		
33. 7. 1	【職業訓練法制定】職業訓練法が、労働基準法に基づく技能者養成と職業安定法に基づく公共職業補導を併せて定められ施行。公共職業訓練は、都道府県と労働福祉事業団が実施。県の一般職業訓練所は、求職者(または雇用労働者)に基礎的技能に関する職業訓練、期間は1年又は6月で行い、労働福祉事業団の失業保険福祉施設総合職業訓練所は専門的技能訓練2年を行うこととされた。求職者に対する基礎的訓練は無料、一定の要件を満たす者には手当が支給されることとなった。 また、認定職業訓練等の基準も定められ、事業主が雇用する労働者に行う職業訓練を事業内訓練とし、申請を受けて知事が認定した認定職業訓練に対する助成を行う、などとされた。技能検定制度が定められ、実技と学科試験を受験し、合格者に技能士の称号が付与されることとなった。	共通
33. 7. 1	昭和33年5月2日の職業訓練法の公布、施行に伴い、公共職業補導所が職業訓練所と改称され、島根県立職業訓練所条例により、島根県立中央公共職業補導所、同大東公共職業補導所、同出雲公共職業補導所が、同松江職業訓練所、同大東職業訓練所、同出雲職業訓練所となる。(S44改称) 松江職業訓練所 建築科、洋裁科 (松江市東朝日町宮の沖121) 大東職業訓練所 木工科 (大原郡大東町南本町(劇場跡)) 出雲職業訓練所 木工科(今市町1004) 理容科、美容科(今市町106) 小型自動車整備科(大津町570)	共通
7. 1	労働福祉事業団営の島根総合職業補導所は、職業訓練法の施行により、島根総合職業訓練所に改称。	共通
34. 3.31	松江職業訓練所、洋裁科を廃止し、島根総合職業訓練所へ移管。	松江
4. 1	松江職業訓練所、左官科(S47移転)を増設。	松江
4. 1	出雲職業訓練所、小型自動車整備科を自動車整備科に改称し、定員を35人とする。(S38移転)	出雲
7. 1	職業訓練指導員が、国家試験合格者、1級技能検定合格者で一定の訓練を受けた者への免許制となる。	共通
35. 1.10	最初の技能検定試験が5種で実施された。	共通
36. 4. 1	労働福祉事業団が、東京小平町に中央職業訓練所(昭和40改編)、東京総合職業訓練所を設置。	共通
7. 1	雇用促進事業団法が制定施行、雇用促進事業団設立。労働福祉事業団から島根総合職業訓練所などが移管。	共通
36	公共職業訓練所の職業訓練指導員に対する指導員手当が創設。	共通
37	高校通学生に、訓練施設で行う職業訓練教科を高等学校での教科の一部の履修とみなす技能連携制度開始。	共通
3.31	職業訓練手当の支給の拡大、技能習得手当の創設等が実施。	共通
4. 1	松江職業訓練所、建築科、左官科を建築1科(建築科)、建築2科(左官科)と改称。	松江
38. 3.	出雲職業訓練所、自動車整備科実習場、農機具修理科実習場、同倉庫を新築。出雲市芦渡町361。	出雲
4.	出雲職業訓練所、農機具修理科30人を芦渡町に増設(S41改称)。 自動車整備科、分庁(大津町570)から芦渡町361に移転。(H5移設)	出雲
5.11	第1回技能五輪全国大会開催。	共通
7. 8	職業安定法が一部改正施行され、中高年齢失業者の就職促進措置の一環として職業転換訓練が実施される。 職業訓練校等が校内で行うほか、各種学校等に委託して行う委託訓練、速成訓練(職業訓練校が施設を借り職員を派遣して行う)、移動訓練(移動可能な施設を運搬して行う)、離職前訓練など実情に応じた訓練が選択された。	共通
39. 3.31	出雲職業訓練所、管理棟(事務室、各科教室、理容科、美容科実習場)、機械仕上科実習場を芦渡町に新築。	出雲
3.31	大東職業訓練所、大東町大東1267を整地し、建築科実習棟、倉庫を新築。	大東
4. 1	松江職業訓練所、建築1科(建築科)を廃止(S46新設)し、建築1科(ブロック建築科)(S49廃止吸収)とする。	松江
4. 1	出雲職業訓練所、機械仕上科30名、芦渡町361に増設。(S44改称、H13廃止) 木工科30名(今市町1004)、理容科30名、美容科30名(以上今市町106事務室併設)、寮(大津町570) 自動車整備科35名、農機具修理科30名、機械仕上科30名(以上芦渡町)	出雲
4. 8	大東職業訓練所、建築科を増設。(H5廃止統合)。 木工科(大東町南本町劇場跡) 建築科(大東町1267)	大東
8.15	組織改編により、各職業訓練所の係制を課制に変更し、庶務課、指導課を置く。	共通
9.15	出雲職業訓練所、事務室、理容科、美容科が出雲市芦渡町361へ移転。(H5移設) 木工科(今市町1002)(S44移設)、寮(大津町570)(H41移設)、理容科(H5移設)、美容科(H5移設)、 自動車整備科(H5移設)、農機具修理科(S41改称)、機械仕上科(S45改称)(以上芦渡町361)	出雲
12.15	大東職業訓練所、木工科(S49廃止統合)が大東町大東1267に実習棟を新築し、南本町劇場跡から移転。	大東
40. 2. 1	雇用促進事業団の中央職業訓練所(東京)が職業訓練大学校に改称。	共通

年月日	内 容	摘要
昭和		
4. 1	松江職業訓練所に島根県内職公共職業安定所が移転併設される。(S43移転)	松江
10.	出雲職業訓練所、委託訓練(自動車運転員)を実施(10～12月)。	出雲
12. 2	出雲職業訓練所、運輸省から第一種自動車整備士養成施設の指定を受ける。	出雲
41. 7.21	雇用対策法が施行され、従来の訓練手当等が職業転換給付金に統合され、扶養手当及び特定職種受講奨励金 ^が 新設。また、転職訓練の実施要領が改正される。	共通
7.31	出雲職業訓練所、寄宿舎が芦渡町敷地内に新築完成。大津町570から移転。	出雲
10.	出雲職業訓練所、農機具修理科を農業機械整備科(S49廃止)に改称。	出雲
42. 3.31	大東職業訓練所、大東町大東1267の敷地内に寄宿舎を新築。	大東
7.10	大東職業訓練所、自動車車庫、自転車置き場を新築。	大東
43. 3.25	大東職業訓練所、実習棟付属便所を新築。	大東
3.31	出雲職業訓練所、木工科実習場、同材料倉庫を芦渡町敷地内に新築。	出雲
4. 1	松江職業訓練所に併設されていた内職職業訓練所が松江市殿町に移設される。	松江
4. 1	出雲職業訓練所、自動車整備科、定員を30人に改正。	出雲
44. 3. 3	大東職業訓練所、本館を新築。	大東
4.	出雲職業訓練所、木工科を今市町1004から芦渡町361へ移転。(H5移設)	出雲
6.20	大東職業訓練所、渡り廊下を新築。	大東
8.	出雲職業訓練所、自動車整備科車検場を新築。	出雲
【専修職業訓練校】(松江、大東、出雲) 昭和44年10月1日～昭和54年3月31日		
44.10. 1	職業訓練法が施行。公共職業訓練施設の法定訓練が、養成訓練、向上訓練、能力再開発訓練、再訓練、指導員訓練とされ、養成訓練を専修訓練と高等訓練の課程に区分し、その内容は労働省令(規則)で規定される。県職業訓練所は専修職業訓練校として、専修訓練課程、向上訓練、能力再開発訓練、再訓練を、雇用促進事業団総合職業訓練所は総合高等職業訓練校として、養成訓練高等訓練課程、向上訓練、指導員訓練、再訓練を行い、高等訓練課程修了時に技能照査により技能士補の称号が与えられ、能力再開発訓練に職業転換訓練課程を設置。	
44.10. 1	また、技能検定の実施等を行う技能検定協会として全国中央協会、都道府県協会が置かれることとなり、11月1日中央技能検定協会が設立され、44年度後期技能検定から協会で試験問題の作成等が行われる。 職業訓練法の廃止・新規制定に伴い、島根県立専修職業訓練校条例により、島根県立松江職業訓練所、同大東職業訓練所、同出雲職業訓練所を、島根県立松江専修職業訓練校、同大東専修職業訓練校、同出雲専修職業訓練校に改称。 松江専修職業訓練校、訓練職種名を、左官科とブロック建築科に改称。(松江市東朝日町宮の沖121) 養成訓練専修訓練課程(新卒卒) ブロック建築科(10人)、左官科(20人) 能力再開発訓練(中高年卒) ブロック建築科(20)、左官科(10)、 自動車運転手委託訓練(2か月在職者若干名) 大東専修職業訓練校 (大原郡大東町大東1267) 養成訓練専修訓練課程(新卒卒) 建築科、木工科(各20) 能力再開発訓練(中高年卒) 建築科、木工科(各10)、自動車運転手委託訓練(2か月在職者若干名) 出雲専修職業訓練校 (出雲市芦渡町361) 養成訓練専修訓練課程 理容科、美容科、自動車整備科、木工科、農業機械整備科、機械科(各20) 能力再開発訓練 理容科、美容科、自動車整備科、木工科、農業機械整備科、機械仕上科(各10) 自動車運転手委託訓練(2か月在職者若干名)	共通
45. 4. 1	出雲専修職業訓練校、機械仕上科を機械科に改称。	出雲
4.	総合農政推進の一環として農業以外の産業への就業希望者を対象に農業者転職訓練制度発足。	共通
6.	雇用対策法施行規則が改正され、離農転職者に対しても訓練手当が支給されることとなる。	共通
7.20	農業者転職訓練の実施要領が定められ、専修職業訓練校職業転換訓練課程の能力再開発訓練として実施。訓練校の既存科、新設科、移動可能の簡易訓練施設、借上設置する簡易訓練施設で、指導員を1名配置し、修了者には修了証書を交付。	共通
10.	大東専修職業訓練校、マイクロバス車庫、正門を新設。	大東
10.	出雲専修職業訓練校、木工科、農業機械整備科(農業者転職訓練6か月各10名)を開始(～3月)。	出雲
12.10	出雲専修職業訓練校、体育館新築。	出雲
46. 4. 1	松江専修職業訓練校、建築科増設。(H23統合移設)	松江
9.27	農業者転職簡易訓練が開始される。	共通
10. 1	委託訓練または速成訓練が中高年者向けに、能力再開発訓練として実施できることとされた。	共通
47	能力再開発訓練として高齢者訓練(主として大都市部)が開始される。	共通
47. 1.13	大東専修職業訓練校、型枠大工科(農業者転職訓練3か月)を大東町で実施。	大東
5.10	松江専修職業訓練校、庁舎移転(式典)。松江市乃木福富町733-2(現松江養護学校乃木校舎)。(H23統合廃止) 養成訓練専修訓練課程 建築科、左官科、ブロック建築科(1年) 能力再開発訓練 建築科、左官科、ブロック建築科(1年) 向上訓練監督者訓練課程 3科目27人	松江
6. 6	大東専修職業訓練校、左官科(農業者転職訓練3か月)を飯石郡赤来町で実施。	大東
6.15	大東専修職業訓練校、型枠大工科(農業者転職訓練3か月)を飯石郡赤来町で実施。	大東
7. 4	出雲専修職業訓練校、左官科(農業者転職訓練3か月)を佐田町で実施(～48.3月、3回)。	出雲
11.18	第1回全国身体障害者技能競技大会(アビリンピック)開催。	共通
12. 3	大東専修職業訓練校、縫製科(農業者転職訓練3か月)を飯石郡赤来町で開始。(49.7.3、50.11.20 3回)	大東
48. 4	能力再開発訓練に、定年退職予定者に対して退職の1年前から再就職のための定年前職業訓練制度追加。	共通
48	松江専修職業訓練校 再訓練技術補修訓練3科109人技能追加訓練1科2講72人 向上訓練監督者訓練課程1科目9人	松江
49. 3.31	大東専修職業訓練校、木工科を廃止し、出雲専修職業訓練校に統合。寄宿舎渡り廊下を新築。	大東
3.31	出雲専修職業訓練校、農業機械整備科を廃止。	出雲
4. 1	松江専修職業訓練校、写真植字科(軽印刷)を増設。また、ブロック建築科を左官科に吸収。	松江
4. 1	大東専修職業訓練校、測量科を増設。(H5統合廃止) 養成訓練専修訓練課程 建築科、測量科(1年)(各20人)	

年月日	内 容	摘 要
昭和		
4. 1	能力再開発訓練 建築科、測量科（１年）（各10人） 縫製科 出雲専修職業訓練校	大東
4.15	養成訓練専修訓練課程 理容科、美容科、自動車整備科、木工科、機械科（１年） 能力再開発訓練 理容科、美容科、自動車整備科、木工科、機械科（１年） 左官科（佐田町） 大東専修職業訓練校、園芸科（農業者転職訓練３か月）を飯石郡赤来町で実施。 (49.9.7、50.4.14、50.9.11 ４回)	出雲 大東
50. 4. 1	雇用保険法が施行され、雇用保険の３事業の一つとして能力開発事業が実施されることとなり、雇用保険で高等技術校の職業訓練の費用などが賄われることとなった。このほか、事業主等へ、認定職業訓練助成費補助金や職業訓練推進事業費補助金が交付され、教育訓練のために有給休暇を与える事業主に対しては有給教育訓練休暇奨励給付金の支給、定年退職を迎える労働者への給付金、技能検定協会への補助、事業主に対する事業転換訓練助成金の給付、卓越した技能者の表彰、国際交流なども能力開発事業として掲げられた。 職業訓練法も改正され、高度技能労働者を養成するため、養成訓練に特別高等訓練課程が設けられ、同課程養成訓練、向上訓練、能力再開発訓練及び再開発訓練を行う職業訓練短期大学校、向上訓練、能力再開発訓練及び再訓練が行われる技能開発センターを設置することとなった。	共通
4. 8	大東専修職業訓練校、土木科（専修訓練課程20人、同能力開発訓練課程10人）を増設。（H５統合廃止） 養成訓練専修訓練課程 建築科中卒20人、測量科高卒20人、土木科高卒20人（各１年） 能力再開発訓練 建築科中卒10人、測量科高卒10人、土木科高卒10人（各１年）、園芸科	大東 松江 松江 出雲 松江 大東 大東 大東 松江
10. 1	松江専修職業訓練校、左官科６か月訓練（能力再開発訓練）実施。	大東
51. 1. 7	松江専修職業訓練校、ブロック建築科（高齢者対象３か月訓練）開始。	松江
5. 5	出雲専修職業訓練校、表具科（高齢者対象６か月）開始。（～53.10）	出雲
9. 8	松江専修職業訓練校、ブロック建築科（高齢者対象６か月訓練）開始。	松江
9.20	大東専修職業訓練校、溶接科（高齢者対象３か月）を赤来町で実施。	大東
52. 6.15	大東専修職業訓練校、表具科（高齢者対象６か月）を赤来町で実施。	大東
6.20	大東専修職業訓練校、溶接科（農業者転職訓練３か月）を赤来町で実施。（52.10.25 ２回）	大東
7. 4	松江専修職業訓練校、経理事務科（高齢者対象６か月訓練）実施。	松江
53. 3.	特定不況業種離職者、漁業離職者に対する対策を推進するために緊急訓練の制度が始まる。	
53. 3.	大東専修職業訓練校、体育館を新設。	大東
4. 4.	松江専修職業訓練校、写真植字科を軽印刷科に改称。経理事務科（職業転換訓練課程）を新設。	松江
4. 4.	出雲専修職業訓練校、木工科定員改正（45名）。	出雲
5. 8	松江専修職業訓練校、園芸科（高齢者対象４か月年２回）を新設	松江
5.10	大東専修職業訓練校、園芸科（農業者転職訓練４か月）を赤来町で実施。	大東
7. 7.	出雲専修職業訓練校、自衛隊退職予定者の木工科４か月訓練10人実施（～10月）。～55年度、３回	出雲
7. 1	大東専修職業訓練校、表具科（高齢者対象６か月）を木次町で実施。	大東
9.30	出雲専修職業訓練校、建設科（緊急訓練６か月）を平田市で実施（～54.3.15）。	出雲
10. 1	職業訓練法の一部改正が５月８日に公布され、職業能力開発協会に関する部分を除き施行された。	
10. 10.	出雲専修職業訓練校、和裁科（高齢者対象６か月訓練）開始（～59.3 13回）。 養成訓練専修訓練課程・能力再開発訓練 理容科、美容科、自動車整備科 木工科、機械科 職業転換訓練課程 和裁科、建設科（平田市）、木工科（自衛隊退職予定者）表具科	出雲
54. 4. 1	公共職業訓練施設と認定職業訓練施設で行う準則訓練は、養成訓練（新規卒者を対象の基礎的な技能の習得）、向上訓練（在職者を対象の技能の追加的習得）、能力再開発訓練（離職者を対象とした技能の習得）と規定され、専修職業訓練校と高等職業訓練校の高等職業訓練校に統合され、県訓練校では、従来の高等訓練課程を普通訓練課程とし、専修訓練課程は経過措置で設置が当分の間できるとされた。さらに専門訓練課程を設け職業訓練短期大学校で実施でき、雇用促進事業団は総合高等訓練校を設置し、順次技能開発センターと職業訓練短期大学校に転換。能力再開発訓練は職業転換訓練課程の基準が適用。	共通
【高等職業訓練校（普通課程と専修課程）】（松江、大東、出雲）昭和54年４月１日～昭和60年９月30日		
54. 4. 1	職業訓練法の改正に伴い、島根県立高等職業訓練校条例により、島根県立松江専修職業訓練校、同大東専修職業訓練校、同出雲専修職業訓練校を、島根県立松江高等職業訓練校、同大東高等職業訓練校、同出雲高等職業訓練校に改称。 松江高等職業訓練校、左官科（職業転換訓練課程６か月年２回）を開始。（松江市乃木福富町733-2） 養成訓練普通訓練課程 軽印刷科 同専修訓練課程 建築科、左官科 能力再開発訓練 建築科、軽印刷科、経理事務科、園芸科（高齢者訓練）、左官科（年２回） 大東高等職業訓練校（大原郡大東町大東1267） 養成訓練（１年）専修訓練課程 建築科 同普通訓練課程 測量科、土木科 能力再開発訓練 測量科、土木科 出雲高等職業訓練校、実習場を増改築し、車検場移転。木工科定員改正（50名）（出雲市芦渡町361） 養成訓練（１年）普通訓練課程 理容科、美容科、自動車整備科 同専修訓練課程 木工科、機械科 能力再開発訓練（６か月）職業転換課程 木工科（年２回）、和裁科、建設科	共通 大東 出雲 共通 大東 松江 大東 大東 出雲 大東 松江 出雲 大東 出雲
5.10	大東高等職業訓練校、園芸科（高齢者４か月）を赤来町で実施。	大東
6. 6	出雲高等職業訓練校、造園科（高齢者対象６か月、年２回）を開始。（～58.9、９回）	出雲
55. 7. 1	職業訓練法に基づき、中央職業能力開発協会が設立された。	共通
7. 9	大東高等職業訓練校、経理事務科（速成訓練４か月）を飯石郡赤来町で実施。	大東
56. 4. 1	松江高等職業訓練校、軽印刷科を製版・印刷科に改称。	松江
5.10	大東高等職業訓練校、園芸科（速成訓練４か月）を赤来町で実施。（56.5.25、57.5.7 ３回）	大東
10.30	大東高等職業訓練校、建築科研ぎ場を新築。	大東
56. 3.	出雲高等職業訓練校、造園科４か月自衛隊退職前訓練を実施。	出雲
57. 3.25	大東高等職業訓練校、汚水処理施設新設。	大東
4. 1	松江高等職業訓練校、製版・印刷科職業転換訓練課程を廃止。	松江
4. 1	出雲高等職業訓練校、定員改正により理容科20名、木工科40名。	出雲
57. 4. 1	出雲高等職業訓練校、機械科定員20名に改正、職業転換訓練課程自動車整備科を設置。（S60廃止）	出雲
11.15	大東高等職業訓練校、危険物貯蔵庫新設。	大東
58. 4.	出雲高等職業訓練校、造園科（６か月大田）を開始。（～61.3 ６回）	出雲

年月日	内 容	摘 要
昭和／平成		
6. 7	大東高等職業訓練校、建設科（高齢者 6 か月）を実施。	大東
9.	出雲高等職業訓練校、造園科（高齢者対象 6 か月、年 2 回）を廃止。	出雲
9.22	大東高等職業訓練校、受電設備移設。	大東
59. 3.	出雲高等職業訓練校、和裁科（高齢者対象 6 か月）廃止。和裁科（施設外 6 か月出雲市）を開始。（～61.3 4 回）	出雲
4. 1	松江高等職業訓練校、経理事務科、園芸科（職業転換訓練課程） 6 か月訓練が年 2 回実施となる。 養成訓練普通課程 製版・印刷科 1 年、同専修課程 建築科、左官科 1 年（各 20 人） 職業転換訓練課程 建築科 1 年 10 人、経理事務科、園芸科、左官科（各 6 か月年 2 回×10 人）	松江
5.27	大東高等職業訓練校、建設科（高齢者対象 6 か月）を大東町で実施（60.6.17、61.6.26 3 回） 養成訓練専修訓練課程 建築科 同普通訓練課程 測量科、土木科 能力再開発訓練 測量科、土木科 建設科（高齢者 6 か月）	大東
60. 3.31	出雲高等職業訓練校、職業転換訓練課程自動車整備科廃止。	出雲
4. 1	出雲高等職業訓練校、木工科 30 人、自動車整備科 20 人に定員改正する。 養成訓練普通課程 理容科 20 人、美容科 30 人、自動車整備科 20 人 専修訓練課程 木工科 30 人、機械科 20 人（各 1 年） 能力再開発訓練職業転換課程 木工科（6 か月年 2 回各 10 人）、和裁（出雲市）	出雲
【高等職業訓練校】（松江、大東、出雲）昭和 60 年 10 月 1 日～平成 5 年 3 月 31 日		
60.10. 1	職業訓練法が職業能力開発促進法と改称・改正、併せて労働省令も改正され、課程名が改称される。 職業訓練は従前 3 区分で、養成訓練に短期課程（12 時間以上）が加わり、普通課程、専門課程、短期課程、能力再開発訓練にも短期課程が加わり、職業転換訓練課程が職業転換課程（標準 6 か月）に改称され、専修訓練課程は経過措置で設置可能とされた。県職業訓練校は養成訓練普通課程・短期課程、向上訓練、能力再開発訓練、職業訓練短期大学校は専門課程・短期課程を、雇用促進事業団技能開発センターは向上訓練と能力開発訓練を行うこととなった。	
	松江高等職業訓練校 （松江市乃木 733-2） 養成訓練普通課程 製版・印刷科 1 年、同専修課程 建築科、左官科 1 年（各 20 人） 能力再開発訓練職業転換課程 建築科 1 年、経理事務科 6 か月、園芸科、左官科（各 6 か月年 2 回（各 10 人） 向上訓練 建築科（規矩術、専門学科、建築製図） 左官科（専門学科、施工法、タイル施工法）	
	大東高等職業訓練校 （大原郡大東町大東 1267） 養成訓練専修課程 建築科 20 人 同普通課程 測量科 20 人、土木科 20 人（1 年） 職業転換課程 測量科 10 人 1 年、土木科 10 人 1 年、建設科 10 人 6 か月	
	出雲高等職業訓練校 （出雲市芦渡町 361） 養成訓練専修課程 木工科 30 人、機械科 20 人 同普通課程 理容科 20 人、美容科 30 人、自動車整備科 20 人（1 年） 職業転換課程（6 か月） 木工科（年 2 回各 10 人）、造園科（大田市）、縫製科（出雲市）	共通
61. 3.31	出雲高等職業訓練校、造園科（6 か月大田市）、縫製科（6 か月出雲市）廃止。	出雲
4. 1	大東高等職業訓練校、訓練体制の整備により、建築科・測量土木科の 2 科となる。	大東
4. 1	出雲高等職業訓練校、造園科（6 か月出雲市 10 人年 1 回～63.16 回）、 縫製科（大田市 10 人年 2 回～元.3 6 回）開始。	出雲
7. 1	公共職業訓練施設等の長の届出により、無料職業紹介が実施できることとなった。	共通
62. 6.10	大東高等職業訓練校、建設科（高齢者対象 6 か月）を三刀屋町で実施。	大東
63. 3.31	松江高等職業訓練校、左官科（職業転換課程高齢者）を廃止。技能向上訓練 5 科 7 コース 76 人	松江
平成元. 4. 1	出雲高等職業訓練校、経理事務科（6 か月大田市）を設置。	出雲
元	出雲高等職業訓練校、技能向上訓練 4 科 9 コース 95 人	出雲
4.14	大田市、同商工会議所などが職業訓練法人島根中央能力開発振興協会を設立。施設は島根中央地域職業訓練センター。	共通
10.13	各校の指導課または能力開発課に、向上訓練等を担当する向上訓練等推進員配置。	共通
2. 2. 8.	出雲高等職業訓練校、木工科が島根県海外技術研修員受入れ（8 月～3 月）。	出雲
10. 9.	松江高等職業訓練校、造園科施設外 6 か月開始。 ～15.3.31	松江
3. 4. 1	松江高等職業訓練校、製版・印刷科をグラフィックアート科に、経理事務科を OA ビジネス科に改称。	松江
4. 1	出雲高等職業訓練校、木工科で受託訓練実施（4 月～7 月）。 職業転換課程 向上訓練 2 科 6 コース 60 人	出雲
9. 3	出雲高等職業訓練校、出雲市長浜町 3057-11 に新築開始。（実習棟、体育館） 10.4（管理棟・教室棟、寄宿舎）	出雲
4. 3.25	出雲高等職業訓練校、体育館工事完了。	出雲
4	出雲高等職業訓練校、向上訓練 2 科 4 コース 40 人	出雲
5.31	出雲高等職業訓練校、実習棟（自動車整備科、機械科、木工科、建設科、測量土木科）工事完了。	出雲
6. 3	職業能力開発促進法の一部改正が公布され、技能検定が職業能力検定に改称されるなどの改正が行われた。	共通
4. 8.	出雲高等職業訓練校、自動車整備科が島根県海外技術研修員受入れ（8～3 月）。	出雲
8.	安来市商工会議所等が安来地域能力開発振興協会を設立。訓練施設は安来地域能力開発センター。	共通
9.10	出雲高等職業訓練校、管理棟、教室棟、寄宿舎工事完了。	出雲
5. 1.	出雲高等職業訓練校、出雲市長浜町 3057-11 に移転。寮定員 84 名。（H23.3.31 統合） 養成訓練専修課程 木工科 30 人、機械科 20 人 同普通課程 理容科 20 人、美容科 30 人、自動車整備科 20 人（中卒 1 年） 職業転換課程 木工科（6 か月、年 2 回各 10 人）	出雲
3.31	大東高等職業訓練校、県立高等職業訓練校再編整備計画に沿って廃止。建築科松江校、測量土木科出雲校。	大東
3.31	松江高等職業訓練校、OA ビジネス科は廃止し、出雲校に移転。	松江
【高等技術校】（松江・出雲）平成 5 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日		
5. 4. 1	職業能力開発促進法改正で、職業能力開発校は知識習得の訓練を専修学校、各種学校等へ委託できることとなる。雇用促進事業団技能開発センターは職業能力開発促進センターに、職業訓練大学校は職業能力開発短期大学校に、職業訓練大学校は職業能力開発大学校に改称。旧法の養成訓練普通課程・専門課程、向上訓練技能向上課程等、能力再開発訓練職業転換課程等の 3 区分が、新法省令（H5.2.12 公布）で、普通職業訓練と高度職業	

年月日	内 容	摘 要
平成		
4. 1	訓練を各々短期と長期に区分変更される。県立能力開発校で行う普通職業訓練は長期間の普通課程と短期間の短期課程に分け、訓練期間を1年（1～4年）と6か月（6か月～1年）とし、職業能力開発促進センターでは高度職業訓練の専門短期課程と普通職業訓練の短期課程を、職業能力開発短期大学校では高度職業訓練の専門課程を実施することとなり、これらの施設では、情報提供相談や援助機能の強化も図られた。事業主の行う職業検定の推進、技能検定の多段階化も図られ、初級の技能者のために3級が導入された。	共通
4. 1	島根県立高等技術校条例により、島根県立松江高等職業訓練校、同出雲高等職業訓練校を、島根県立松江高等技術校、同出雲高等技術校と改称（愛称テクノスクール）。訓練校再編整備計画及び労働省令により課程を設置。松江高等技術校、普通課程建築施工系・木造建築科（建築科）、建築仕上系左官・タイル施工科（左官科）を2年課程とし、園芸科を短期課程造園科に改称。（松江市乃木福富町733-2）	
	普通課程 建築科、左官科（各中卒2年）、グラフィックアーツ科（高卒1年） 短期課程 造園科 出雲高等技術校（出雲市長浜町3057-11）	
	普通課程 木工科中卒20名2年、機械科中卒30名2年、理容科中卒20名1年、 美容科中卒30名1年、自動車整備科高卒20名2年、測量土木科高卒20名1年 短期課程 OAビジネス科（離転職者20名）、建設科（離転職者20名）1年 速成訓練 6か月 造園科（出雲市10人）、経理事務科（大田市10人2回）（離転職対応速成訓練）	共通 共通
4. 1	県行政組織改正により、庶務課を総務課に、出雲高等技術校では、指導課を技能指導課及び能力開発課に分割。	共通
5. 4. 5	技能実習制度が創設される。	
5	出雲高等技術校、在職者短期訓練 6科16コース180人	出雲
10. 1	一畑電鉄出雲外園線が出雲高等職業訓練校経由となる。	出雲
10. 8	職業能力習得制度（ビジネス・キャリア制度）が創設される。	共通
6. 3.	松江高等技術校、建築科、グラフィックアーツ科実習棟竣工。	松江
4.	出雲高等技術校、造園科離転職者対象（6か月平田市10人）開始、同科出雲市廃止。 在職者短期訓練 6科16コース180人	出雲
10. 1	松江高等技術校、造園科（速成短期課程安来市）開設、安来地域能力開発協会に委託。	松江
6	出雲高等技術校、在職者短期課程 5科14コース（134）人	出雲
7	在職者 短期課程 松江3科5コース71人、出雲7科18コース220人	共通
8. 4. 1	松江高等技術校、建築科技能連携制度開始。 松江工業高校建築科との間で連携。 普通課程 建築科（技能連携）（中卒2年）、建築科、左官科（2年）、印刷・製本系製版科（グラフィックアーツ科）1年 短期課程 造園科 向上訓練短期課程3科5科目94人	松江
8	在職者短期訓練 松江3科6科目77人、出雲7科20コース230人	共通
8. 5.11	構造転換能力開発事業と地方転職求職支援能力開発事業が事業主団体等委託の就職支援能力開発事業に統合。	共通
11.	技能五輪全国大会を松江くにびきメッセで開催。	共通
9	職業能力開発促進法が改正で職業能力開発総合大学校設置、労働者の自発的な職業能力の開発・向上促進など実施。	
9	在職者短期訓練 松江3科8コース101人 出雲7科18コース220人	共通 共通
10. 3.31	出雲高等技術校、測量土木科・建設科教室棟増築	出雲
4. 1	出雲高等技術校、理容師美容師法の改正により、理容師養成施設、美容師養成施設として指定を受ける。また、法改正に伴い、理容科、美容科を高卒以上2年課程とし、定員を各10名削減。	出雲
6.18	緊急雇用開発プログラムに沿って、補正予算が成立。障がい者雇用を教育訓練機関等への委託訓練の実施。	共通
11.16	中高年離職者への相談援助、民間教育訓練機関等を活用した委託訓練など雇用対策を盛り込んだ緊急経済対策策定。	
12. 1	教育訓練給付制度、創設。	共通 共通
10	松江高等技術校 在職者短期訓練 4科6コース123人 出雲高等技術校 在職者短期訓練 7科18コース225人	共通
11. 4.	出雲高等技術校、寮の食事を民間に委託開始。	出雲
11	在職者短期訓練 松江3科8コース126人 出雲短期訓練 7科17コース205人	共通
11	出雲高等技術校、第1回浜風祭（学園祭）を開催。	出雲
11	地方分権推進計画に沿って、職業能力開発促進法が「地方分権整備一括法」で改正され、職業訓練の認定に関する事務や技能検定事務などが都道府県の自治事務とされた。	共通
6.11	緊急雇用対策に、学卒未就業者に民間教育訓練機関等を活用し短期無料職業訓練サービスの提供が定められる。	共通
10. 1	雇用促進事業団廃止。独立行政法人雇用・能力開発機構が設立、事業継承。	共通
12	県労働政策課、島根県立高等技術校職業能力開発プラン策定。	共通
12. 1.20	松江高等技術校、情報経理科施設外委託訓練（西郷町 ～3月）を実施	松江
3.31	松江高等技術校、グラフィックアーツ科廃止、出雲高等技術校へ移行。	松江
3.31	出雲高等技術校、建設科を廃止。	出雲
4. 1	中卒以上普通2年課程（左官科、建築科、木工科、機械科）の募集停止。	共通
4. 1	第二次再編整備に伴い、高等技術校に普及振興・向上訓練担当を新設。	共通
4. 1	松江高等技術校、左官科、建築科を中卒10名短期1年若年者で新設、造園科を離転職者10名短期6か月フリーに変更。	松江
4. 1	出雲高等技術校、木工科中卒10名、デザイン印刷科高卒10名各1年新設、OAビジネス科フリーコースに変更。	出雲
5.16	ミスマッチ解消を重点に国の緊急雇用対策策定。専修・各種学校との連携の強化などICT化への対応打出し。	共通
7.10	松江高等技術校、施設外委託訓練ファインセラミクス加工科（東出雲町）7～10月、11～3月	松江
11.15	入校選考試験過去問を公開化。過去3年分は県HPで、平成7年以降の問題は各校で写し等を提供できるとした。	共通
12	松江高等技術校能力開発セミナー7科21セミナー429人 出雲高等技術校在職者短期訓練9科21コース245人 緊急再就職等訓練（離転職者対象）松江9科172人、出雲4科65（67）人	共通 共通
13. 1. 6	中央省庁等改革のための国の行政組織関係法律の整備等に関する法律（国家行政組織法、厚生労働省設置法など一部改正）により、厚生省と労働省などの統合改名などにより、厚生労働省、総務省など新たな省庁組織が発足。	
1.24	松江高等技術校、OAオフィス科施設外委託訓練（1～3月）	松江
3.31	技能連携を除き、中卒以上普通2年課程を廃止（左官科、建築科、木工科、機械科）。	共通
3.31	出雲高等技術校、土木工学科（第2実習棟）、設備工学科（第1実習棟）施設を改修。 測量土木科・建設科教室棟をCAD室に改修。経理事務科（6か月大田市）、造園科（6か月平田市）廃止。	出雲

年月日	内 容	摘 要
平成		
4. 1	出雲高等技術校、自動車整備科を自動車工学科、測量土木科を土木工学科10名2年に変更、設備工学科10名2年を新設。木工科をインテリア木工科に改称。	出雲
6. 4	松江高等技術校、施設外委託ファインセラミックス加工科、コンピュータグラフィック科。(6～10月)(11～3月)	松江
7.10	松江高等技術校、施設外委託ファインセラミックス加工科(7～10月)(11～3月)	松江
8.28	松江高等技術校、伝承建築科(在職者10名短期6か月課程)を新設。	松江
9.20	総合雇用対策決定。雇用のミスマッチ解消のために、職業紹介と訓練の連携、個人の主体的な能力開発を推進するシステムの整備、民間教育訓練機関を活用した委託訓練の実施、中高年・女性の就業促進、労働者派遣制度・職業紹介制度の見直しなどが提言され、法、助成制度などの整備が図られることとなった。	
10. 1	一畑電鉄出雲外園線(出雲市運行委託)出雲高等技術校乗入廃止。	出雲
10. 1	労働移動の増加等の変化に適切に対応するため、企業主導の職業能力開発に加えて、労働者が自発的な職業能力開発を行うこと(キャリア形成)を支援する体制など、雇用対策法などと併せて職業能力開発促進法が改正公布された。	共通
10. 1	キャリア形成促進助成金が創設される。	共通
12. 3	職業能力開発局長通知別添「委託訓練実施要領」により、県営公共職業能力開発施設を実施主体として、公共職業安定所が受講を指示した求職者に対し、民間教育訓練機関等へ委託して行う職業訓練を実施することとなった。	共通
13	松江高等技術校能力開発セミナー7科42セミナー790人 出雲高等技術校在職者・向上訓練45科699(682)人 緊急再就職等訓練(離転職者対象)松江9科226人、出雲4科65(67)人	共通
14. 4. 1	高等技術校普通課程について、入校料、授業料の徴収を始める。	共通
10. 1	日本障害者雇用促進協会(S63.4.1改称)を解散し、独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構(S23.10.1改組)設立。	共通
14	緊急再就職等訓練(離転職者対象)松江11科113人出雲16科(285)277人 松江校能力開発セミナー7科32セミナー(630)574人 出雲校在職者・向上訓練10科28コース372(345)人	共通
15. 3.31	松江高等技術校、造園科(短期課程)廃止。	松江
3.31	出雲高等技術校、デザイン印刷科、OAビジネス科を廃止。	出雲
4. 1	松江高等技術校、左官技工科(普通課程2年)、庭園技術科(普通課程1年)若年者・資格取得コース新設。	松江
4. 1	出雲高等技術校、ビジュアルデザイン科10名普通課程、建築ビジネス科10名短期課程を新設。	出雲
15	緊急再就職等訓練松江12科193人出雲18科(317)295人 能力開発セミナー松江7科28セミナー320人(418)在職者・向上訓練出雲41科589人(622)	共通
16. 3.31	松江高等技術校、左官科(短期課程)廃止。	松江
3.31	出雲高等技術校、インテリア木工科を廃止。	出雲
4. 1	出雲高等技術校、自動車工学科定員を15名に改正。建築ビジネス科訓練指導業務を学校法人斐川コア学園に委託。長期離職者支援事業技術講習を島根中央地域職業訓練センターに委託実施。	出雲
4. 1	機構改革で、総務課、指導課と技能指導課、能力開発課を総務グループ、指導グループ、能力開発グループに改称。	共通
4. 1	若者の就職促進を図ることを目的とした若年者職業能力開発支援事業が新設。	共通
4. 1	企業実習と座学を連結させた日本版デュアルシステムが創設され、委託訓練活用型デュアルシステムが新設される。	共通
4. 1	長期離職者支援事業、障害者職業能力開発事業が新設開始される。	共通
16	緊急再就職等訓練松江2科7コース135人出雲4科10コース(160)168人 在職者・向上訓練松江8科13コース354(381)人出雲9科24コース(285)333人 松江障害者委託訓練4科13人 松江長期離職者等就業支援技術講習2回30人	共通
17. 4. 1	出雲高等技術校、障害者訓練スタッフ設置、介護サービス科(知的障害者10名)新設。 建具製作科(10名)1年課程を新設。	松江
4. 1	母子家庭の母等の職業的自立促進事業の開始。	出雲
17	緊急再就職等訓練松江2科6コース114人出雲6科9コース(125)137人、 松江能力開発セミナー7科12科(270)261人 出雲在職者・向上訓練24科(300)353人 松江障害者委託訓練8科17人	共通
18. 3.31	出雲高等技術校、建築ビジネス科を廃止し、緊急再就職等(委託訓練)に移行。	松江
4. 1	地域における若者自立支援ネットワーク整備モデル事業が実施され、地方自治体推薦で地域の民間団体に国から直接事業委託を行う「地域若者サポートステーション」が設置された。	出雲
10. 1	改正職業能力開発促進法が施行され、事業主が労働者の実践的な職業能力開発向上を図るために、教育訓練機関での理論面の座学(offJT)と企業での実習(OJT)を組み合わせ実施する実習併用職業訓練が新たに位置づけられる。	共通
18	離転職者緊急再就職・デュアル訓練松江5科9コース135(146)人出雲1科(151)162人 障害者委託訓練松江4科17人出雲9科11人求人委託出雲5科5人 在職能力開発セミナー松江6科14講(235)227人 出雲23科(276)351人	共通
19. 3.31	松江高等技術校、伝承建築科(短期課程)休止。	松江
19	離転職者緊急再就職訓練松江2科(33)32人出雲4科25(25)人、障害者委託訓練松江9科23人出雲10科14人 在職者能力開発セミナー松江5科(182)170人在職者・向上訓練出雲9科26コース(316)356人 出雲求人者委託訓練9コース9名	共通
20. 4. 1	出雲高等技術校、建具製作科を木工科に改称。	出雲
4. 1	ジョブ・カード制度の創設	出雲
20	緊急再就職委託訓練松江4科57人出雲6科55人障害者委託松江6科24人出雲10科15人 求人委託出雲8科15人在職者能力開発セミナー松江5科13コース(175)176人出雲(316)356人	共通
21. 3. 3	県単独事業として、施設外委託訓練介護サービス科新設、この年明許繰越で21年度から実施。	共通
21. 4. 1	松江高等技術校、ハウスアート科(若年者10名)短期1年課程新設。左官技工科(普通2年10人)募集停止。	松江
21	緊急再就職委託訓練松江13科208人出雲18科(281)296人求人者委託出雲6科7人 障害者委託松江22科35人出雲18科18人 在職者能力開発セミナー松江6科15講(211)210人在職者・向上訓練 出雲25セミナー(355)343人松江ものづくり・能力開発セミナー102回4286人	共通
22. 3.31	松江高等技術校、左官技工科廃止(中卒10名2年)。	松江

年月日	内 容	摘要
平成		
22. 4. 1	松江高等技術校、建築科（技能連携 2 年）募集停止。 普通課程 建築科（技能連携）（若年中卒 2 年10人）、ハウスアート科（1 年10人）、 庭園技術科（若年高卒 1 年10人） 短期課程 建築科（若年 1 年10人）	松江
4. 1	出雲高等技術校、障害者訓練スタッフを障がい者訓練スタッフに改称。 普通課程 理容科10人、美容科20人、自動車科15人、土木工学科10人、設備工学科10人（以上高卒 2 年）、 ビジュアルデザイン10人（高卒 1 年） 短期課程 介護サービス科（10人知的障がい者）、木工科（10人離転職者）（以上 1 年）	出雲
22	松江委託訓練19科（270）284人 障がい者委託訓練38科46人 在職者能力開発セミナー14講習（264）246人 緊急雇用対策・教育訓練 産業人3952人 パソコン291人 出雲高等技術校 委託訓練25科（385）380人 障がい者委託訓練17科17人 在職者能力開発セミナー 21講習（285）272人緊急雇用対策・教育訓練 産業人6634人パソコン800人 新卒 3 ステップ研修257人、offJT 2 コース25人	共通
10.	島根県立高等技術校再編整備計画（以下、技術校再編計画）により、改修工事着工。建築科倉庫、左官訓練場、 大型車両倉庫など新築。実習棟、管理教室棟、体育館、倉庫・車庫、寄宿舎、CAD 教室棟、渡り廊下など改修。	出雲
23. 3.15	出雲高等技術校、改修工事完了。5 月27日竣工式。	出雲
3.31	松江高等技術校、建築科（2 年・技能連携）、庭園技術科廃止。建築科、ハウスアート科を出雲へ移設。	松江
3.31	出雲高等技術校、土木工学科、設備工学科、ビジュアルデザイン科、木工科を廃止。	出雲
【東部高等技術校】平成23年 4 月 1 日～		
23. 4. 1	技術校再編計画により松江と出雲の高等技術校を統合し東部高等技術校に改称。出雲高等技術校の設備を利用。 内部組織に総務グループ、指導第 1 グループ、指導第 2 グループ、産業人材育成スタッフ、障がい者訓練スタッフ を置く。なお、委託、在職者教育、障がい者委託訓練の松江圏域を担当する 3 名が県庁に駐在。 東部高等技術校 常設訓練科（出雲市長浜町3057-11） 普通課程 理容科10名、美容科20名、自動車工学科15名、住環境・土木科10名（高卒以上）（2 年課程） ものづくり機械加工科10名新設、Web デザイン科10名新設（高卒以上）（1 年課程） 短期課程 介護サービス科10名（知的障害者）（1 年課程） 建築科15名、ハウスアート科10名（中卒以上）（1 年課程）	東部 出雲
4. 1	出雲高等技術校、理容科募集停止。	出雲
23	離職者緊急再就職委託訓練48科（726）679人 障がい者委託訓練 松江34科45人出雲12科12人 在職者能力開発セミナー20コース（290）289人緊急雇用対策・教育訓練松江圏域産業人87回3,443人 パソコン68回366人 出雲圏域産業人122回9,084人パソコン80回22人リーダー研修13回125人 幹部候補マネジメントセミナー 5 回98人新卒 3 ステップ研修587人、offJT 3 コース35人、 サッカーロボによる人材育成	東部
23. 3.30	離職者向け委託訓練のうち、雇用・能力開発機構が実施するものが廃され、すべて都道府県が実施することと された。	共通
3.31	理容科を廃止。	出雲
4. 1	常設訓練科普通課程 美容科、自動車工学科、住環境・土木科（高卒 2 年）、ものづくり機械加工科、 Web デザイン科（同 1 年） 短期課程 介護サービス科（知的障がい者）、建築科、ハウスアート科（若年者 1 年）	東部
23.10. 1	独立行政雇用・能力開発機構が廃止。職業能力大学校、短期大学校、開発促進センターなど主な施設、求職者 訓練などが独立行政法人高齢・障害雇用支援機構（H15.10.1設立）に移管、独立行政法人高齢・障害・求職者 雇用支援機構に名称変更。	共通
24. 3.30	委託訓練活用型日本版デュアルシステムが委託訓練実施要領で実施されることとなった。	共通
24	再就職委託訓練44科632人障がい者委託訓練松江36科52人出雲13科13人 在職者スキルアップセミナー（288人）310人 緊急雇用・教育訓練 松江 産業人74回2764人パソコン72回33人リーダー研修14回90人 出雲 産業人159回14428人パソコン57回190人リーダー研修 5 回67人マネジメント 5 回79人 新卒 3 ステップ研修567人 offJT 2 コース19人 サッカーロボにより人材育成	東部
25. 3.29	母子家庭の母等の職業的自立促進の訓練コースと託児サービスが委託訓練実施要領に吸収、個別の事業要領は 廃止。	共通
4. 1	第 2 次地方分権推進一括法の施行に伴い、職業訓練の基準等の設定が知事の権限とされ、島根県高等技術校条 例、同規則が H24.12.21 に一部改正公布され、普通課程、短期課程の訓練基準、職業訓練指導員の資格が条例で、 訓練科の教科及び設備の概要が規則で定められ施行された。条例には、訓練基準として、法令に準じ、訓練対 象者、教科、訓練の実施方法、訓練期間、訓練時間、設備、訓練生の数、職業訓練指導員、試験、規則では設 置科毎の教科内容、設備の概要が定められた。	共通
4. 1	あわせて、この条例の改正で、短期課程の在職者は、授業料の納付が必要となった。	共通
4. 1	機構改革により、総務グループ、指導第 1 グループ、指導第 2 グループを、総務課、指導第一課、指導第二課 に変更。	東部
25	緊急再就職訓練44科（695）632人 障がい者委託訓練 松江35科46人出雲15科15人 在職者 産業人スキルアップセミナー24講習（409）285人、中小企業マネジメントセミナー次世代リーダー24人 同ビジネスリーダー18人現場リーダー松江 2 研修11人出雲研修 人オーダーメイド 8 社141人、 新卒 3 ステップ679人、offJT 1 コース11名 サッカーロボによる小中学生人材育成、出雲産業祭に校として参加	東部
26. 1. 8	技能連携制度を活用し、宍道高等学校が東部技術校の訓練時間を履修時間として単位認定する覚書を締結。	東部
3.10	3 D プリンタ（株式会社キーンエンス社製アジリスター 3100）導入。	東部
4. 1	宍道高校との覚書に基づき、年105時間（3 時間／週×35週）の実習授業開始（建築科、ハウスアート科）。	東部
26	離職者緊急再就職訓練38科（584）510人 障がい者委託訓練松江35科48人出雲14科21人 在職者 産業人スキルアップセミナー20コース（344）282人、中小企業マネジメントセミナービジネスリーダ 育成20人 同現場リーダー育成松江 4 研修（60）59人出雲 4 研修（50）56人、オーダーメイド型教育訓練支援 2 社32人、 新卒 3 ステップ研修733名、offJT 1 コース19名 サッカーロボによる中学生人材育成、3 DCAD の無料講座を 開始。	東部

年月日	内 容	摘 要
平成		
27. 4. 1	産業人材スタッフ（離転職者委託、在職者）と障がい者訓練スタッフ（介護福祉科、障がい委託）を統合し産業人材育成・障がい者訓練スタッフに変更。委託と在職者教育訓練の松江圏域担当嘱託2名を県庁から東部校へ移動。	東部
27	緊急再就職訓練37科（554）411人、障がい者委託訓練36科64人 在職者産業人スキルアップセミナー20コース（303）247人中小企業マネジメントセミナービジネスリーダー育成2研修（40）47人、同現場リーダー松江4研修（40）56人出雲3研修（40）37人、新卒3ステップ研修689名、若手社員フォローアップセミナー（40）33人、off-JT3コース48名	東部
11.30	サッカーロボ斐川教室実施、以降貸出を主とする。3 DCAD 講習を在職、教育、委託訓練、施設内訓練で実施。	東部
28. 1. 6	教室棟、管理棟の屋根を修繕。	東部
8.	住環境・土木科27年12月22日から周辺道路美化で「ハートフルしまね」活動を開始し、愛護団体として認定される。	東部
9.13	敷地国道側に施設内訓練紹介看板2基設置	東部
9.23	施設長命化工事（管理棟・教室棟エアコン更新工事～11/18）	東部
10.31	アイサポーター養成施設として認定され、職業訓練員指導研修内で研修を実施。	東部
28	施設長命化工事（管理棟・教室棟外壁修繕）起工～H29.2.28 緊急再就職訓練39科（593）371人、障がい者委託訓練松江*科*人出雲20科39人 在職者 産業人スキルアップセミナー14コース（230）191人技能伝承人材育成事業（左官日本壁、大工墨付け）（5.6）4人、7人 中小企業マネジメントセミナービジネスリーダー育成2研修（40）47人、同現場リーダー松江4研修（40）56人出雲3研修（40）37人新卒3ステップ研修689名、若手社員フォローアップセミナー（40）31人、Off-JT3コース（電気工事、建設コンサルタント、給排水・空調設備）39名 3 DCAD 講習を在職、教育、委託訓練、施設内訓練で実施。	東部
29. 4. 1	施設内訓練29年度入校から応募資格の年齢要件なくなる	共通
29. 4. 1	ものづくり機械加工科を指導第1課から指導第2課に変更。	東部
10.	敷地国道側に施設内訓練科行事紹介看板を修了生からの寄贈により設置	東部
29	緊急再就職訓練32科（461）302人、障がい者委託訓練松江20科31人出雲20科31人 在職者 産業人スキルアップセミナー18コース（200）126人技能伝承人材育成事業（*、大工墨付）（.）9人、8人中堅社員の育成セミナー経営者向け研修（20）8人、同現場リーダー松江2研修（30）20人出雲2研修（40）34人新卒3テーマ別セミナー研修（20）25人新卒3ステップ研修728名、若手社員フォローアップセミナー（20）8人offJT3コース（電気工事、建設コンサルタント、給排水・空調設備）35人 3 DCAD 講習を在職、教育、委託訓練、施設内訓練で実施。	東部
30. 7.27	献血活動の功績により県献血推進協議会から表彰を受ける。	東部
30.	緊急再就職訓練39科（515）258人、障がい者委託訓練出雲23科38人・松江16科24人 長期人材育成コースが設置され、専門学校等に委託して12コースが開設された。 在職者 産業人スキルアップセミナー20コース（247）211人技能伝承人材育成事業（左官日本壁、大工墨付け）（5.6）8人、9人 働き方改革ダイバーシティ出雲（20）8人幹部候補者リーダー育成2研修松江出雲（40）38人 現場管理者人材育成力安来（20）27人リーダー研修雲南（20）18人 新卒3ステップ内定者研修21校702人、春季2研修松江出雲（80）64人、秋期2研修松江出雲（80）67人、若手社員フォローアップセミナー2研修松江出雲（80）91人、offJT3コース（電気工事、建設コンサルタント、給排水・空調設備）33人、 3 DCAD 講習を在職、教育、委託訓練、施設内訓練で実施。	東部
31. 4. 1	副校長を置き、産業人材育成・障がい者訓練スタッフを統括する。	東部
令和		
元. 7.11	献血活動の功績により第55回献血運動推進全国大会にて厚生労働大臣から表彰を受ける。	東部
元.10	令和2年度から自動車工学科の募集定員を15名から20名へ変更した。	東部
元	緊急再就職訓練49科（646）440人、障がい者委託訓練出雲15科26人・松江18科23人 産業人スキルアップセミナー18コース（216）158人、技能伝承人材育成事業（左官日本壁、大工墨付け）10. 10）8人、8人 中堅社員等の育成セミナー働き方改革経営者コース出雲（20）21人 幹部候補者コース2研修雲南安来（40）51人 現場管理者コース松江出雲（40）37人 新卒3ステップ内定者研修19校816人、春季2研修松江出雲（80）77人、秋季2研修松江出雲（80）77人、若手社員フォローアップセミナー2研修松江出雲（80）64人 Off-JT3コース（電気工事、建設コンサルタント、給排水・空調設備）41人 3 DCAD 講習を在職、教育、委託訓練、施設内訓練で実施。	東部
2. 4. 1	組織改正により産業人材育成・障がい者訓練スタッフの介護サービス科を指導第一課へ移管して次の体制とした。 指導第一課……美容科、自動車工学科、住環境・土木科、介護サービス科 指導第二課……ものづくり機械加工科、Web デザイン科、建築科、ハウスアート科	東部
3. 9.22	離職者等再就職訓練事業として定住外国人向け就職サポート科（4か月）を開始	
5. 4. 1	ハウスアート科を左官科に改称。	

【参照資料】

東部高等技術校要覧平成23～30年度 出雲高等技術校要覧昭和61年度～平成22年度 松江高等技術校要覧平成12年度～22年度・昭和62年度 大東高等職業訓練校要覧
昭和62年度 高等職業訓練校・高等技術校入校案内 出雲市誌 出雲市30年誌 出雲市40年誌 出雲市50年誌 出雲市60年誌 松江市誌 大東町誌

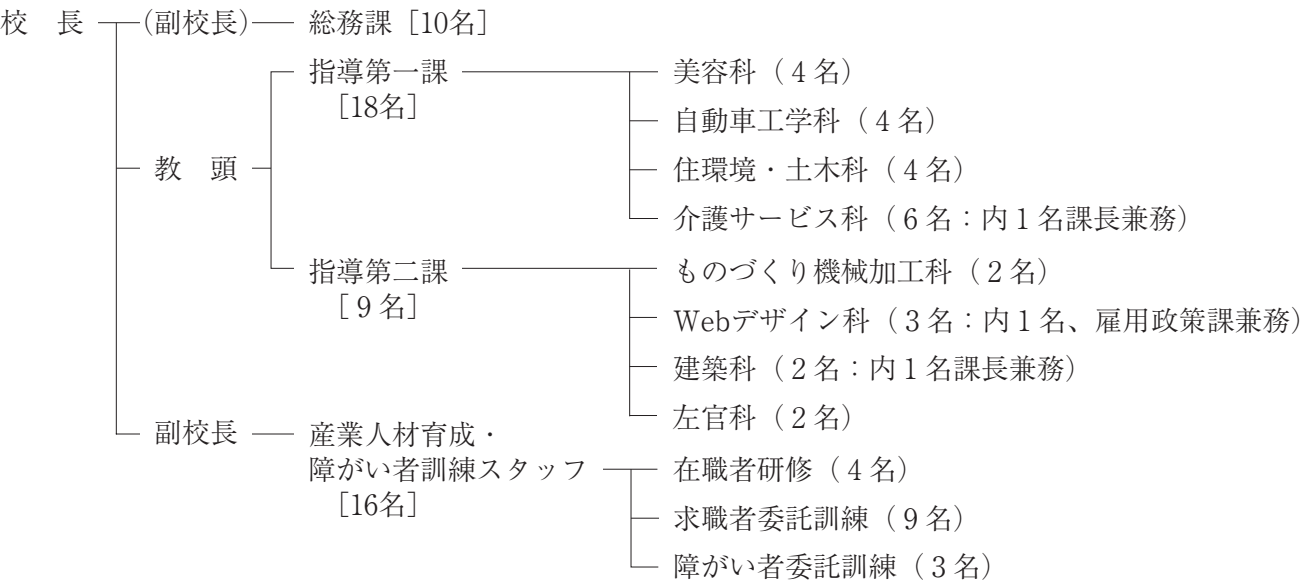
【参考文献】

成人訓練の理論とそのすすめ方（遠藤政夫著昭和47年9月5日） 職業訓練の現状と課題（森英吉著労働行政研究所昭和57年5月25日）
解説職業能力開発促進法（宮川知雄著日刊労働通信社昭和61年5月28日） 詳解職業能力開発の現状（職業能力開発研究会編 社団法人雇用問題研究会改訂平成17年2月）
解説日本の職業能力開発 平成11年版（人材開発研究会編労働新聞社平成11年10月26日） 同平成12年度版（平成12年10月26日） 同平成13年度版（平成13年12月26日）
同平成14年度版（平成15年2月20日） 同平成20年度版（平成21年2月17日） 新訂版職業能力開発促進法（厚生労働省職業能力開発局編 財団法人労働行政研究所平成14年3月22日） 改訂版職業能力開発促進法（財団法人労働行政研究所編 株式会社労働行政 平成20年12月25日）

10. 組織及び職員構成

組 織

(令和8年4月1日現在)



職 員 構 成

課名	職 名	課名	職 名
	校 長		課 長
	教 頭		(美容科)
	副 校 長		職業訓練指導専門員
総務課	課 長		職業訓練指導員
	係 長		講 師 (2名)
	主 任(再任用)		(自動車工学科)
	舎 監 (6名)		職業訓練指導専門員
	一 般 事 務 員		講 師 (3名)
			(住環境・土木科)
			職業訓練指導専門員
障がい者訓練スタッフ 産業人材育成・	(在職者研修)		講 師 (3名)
	能力開発相談員		(介護サービス科)
	在職者研修支援員 (3名)		課 長 (兼務)
	(求職者委託訓練)		講 師 (2名)
	主 任 主 事		生 活 指 導 員
	委託先開拓員		ノーマライゼーション推進アドバイザー
	巡回就職支援指導員 (6名)		訓 練 補 助 員
	定住外国人就職支援コーディネーター		課 長
	(障がい者委託訓練)		(ものづくり機械加工科)
	主 事		職業訓練指導専門員
	障がい者訓練コーディネーター (2名)		講 師
			(Web デザイン科)
			職業訓練指導専門員
			職業訓練指導専門幹 (兼務)
			講 師
			(建築科)
			課 長 (兼務)
			講 師
			(左官科)
			主任職業訓練指導員
			講 師

正規職員……………18名
(内 再任用1名、他所属兼務職員1名)
会計年度任用職員……38名
(講師・支援員 他)
合計 56名

